



ワイヤレス ドライブスルー音声システム

操作指示

HM Electronics, Inc.
14110 Stowe Drive
Poway, CA 92064 USA

Phone: 1-800-848-4468
Fax: 858-552-0172

目次

ionIQ™ 装置	1
ベースステーション	2
フロントパネル.....	2
リヤパネルとサイドパネル.....	3
ヘッドセット.....	4
機能とコントロール.....	4
ヘッドセットの装着方法.....	4
ヘッドセットコントロールの使用法.....	5
ヘッドセットの登録.....	5
バッテリーの取り外しと交換.....	8
バッテリー充電器.....	9
ionIQ™ の操作	10
ヘッドセット指示言語の変更.....	10
ヘッドセット状態の取得.....	10
シングルレーン操作.....	11
デュアルレーン操作.....	12
タンデム操作.....	13
店舗内コミュニケーション.....	13
オペレータモード.....	14
メッセージセンターの操作.....	15
顧客歓迎メッセージの設定.....	17
リマインダーメッセージの設定.....	21
警告メッセージの設定.....	25
スケジュール時間.....	30
音量調整.....	31
有線バックアップシステムの操作.....	32
車両検出.....	33
店舗の設定.....	34
PCナビゲーション.....	42
PCレポート.....	43
装置の手入れ	44
適切な装置の扱い方.....	44
装置のクリーニング.....	44
問題が発生した場合	45
トラブルシューティング.....	45
サービスコール.....	46
ベースステーション内部コントロールとインジケータ.....	47
診断.....	48
スペイン語またはフランス語操作のためにベースステーションを設定するには.....	49
装置仕様	50
FCC 通告	51

図と図表

図 1. ionIQ™ 標準装置.....	1
図 2. ベースステーションフロントパネルの機能.....	2
図 4. ヘッドセットコントロール.....	4
図 5. 正しいヘッドセットの装着.....	4
図 6. ベルトパックバッテリーリリースラッチ.....	8
図 7. ヘッドセットバッテリーリリースラッチ.....	8
図 8. 充電器内のバッテリー.....	9
図 9. 一般的なタンデム式ドライブスルー.....	13
図 10. ベースステーション下部の有線バックアップ用スイッチ.....	32
図 11. ベースステーションの内部機能.....	47

以下に示すように、ヘッドセットにはスペイン語とフランス語による基本的な操作指示が提供されています。言語変更の手順については、[10 ページ](#)を参照してください。

Español

El COM6000BP proporciona información que indica el estado del funcionamiento del mismo en español como es: **Unidad #, Batería cargada, Batería semi-cargada, Batería baja, Línea uno, Línea dos, Fuera de alcance, Reemplazar batería y Unidad desactivado.**

Para cambiar el idioma de la información que se escucha en la diadema, de inglés a español, siga los siguientes pasos: Oprima y mantenga presionado el botón “A1”, así como el botón para reducir el volumen “▼” y el botón para encender el comunicador “PWR” al mismo tiempo, hasta que el comunicador se encienda.

Français

COM6000BP fournit les sélections de fonctionnement fondamentales suivantes en français: **Ceinture-sac #, Fonction inactive, Batterie charge, Batterie demi-charge, Batterie basse-charge, Voie un, Voie deux, 'hors d'entente, Remplace batterie et Ceinture-sac inactive.**

Pour changer les indications de l'anglais au français, appuyer et tenir le “A1” et le volume en bas “▼” en même temps, tout en appuyant sur le bouton d'allumage “PWR”.

HM Electronics, Inc. は、オリジナルの英語版からのインストールおよび/または出版物の運用による誤った翻訳のために生じる機器の誤操作に対して一切の責任を負いません。

本書記載のイラストは実物の装置と若干異なり、形状などが一部省略されている場合があります。

ion|IQ™ 装置

ion|IQ™ は、主にファーストフードレストラン向けの音声システムです。下記に示される装置は、ion|IQ™の標準装置です。オプション装置は、お客様の地元販売業者からご注文ください。

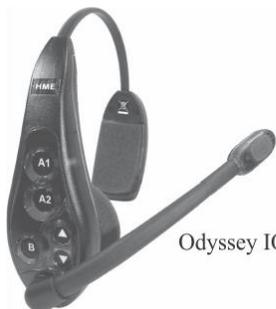
注：

購入時の個々の店舗のニーズによって装置の数は異なります。

追加の装置は、下記のリストからご注文ください。



ベースステーション



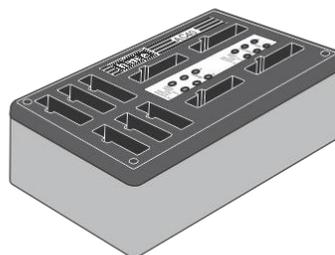
Odyssey IQ



COM6000BP

オプション装置

装置	モデル番号
ベルトパック	COM6000BP
ベルト	なし
Odyssey IQ 一体式ヘッドセット	HS6000
ワイヤレス ヘッドセット (聞き取り専用)	HS6000L
Odyssey IQ 用バッテリー	BAT41
ヘッドセット	HS12
ヘッドセット、オーバーザイヤ	M220
ヘッドセット耳あて	なし
ヘッドセットイヤホンカバー (使い捨て)	なし
ヘッドセット インターフェイス	HSI6000
電話インターフェイス	TI6000
車両検出器基板	VDB102
車両検出器基板 (リレー付き)	VDB102R
車両検出器ループ (地下)	VDL100
薄型スピーカー	SP2500LP
天井スピーカー	MM100
マイク	DM4
モードスイッチ (デュアルレーン)	MS10
リモートスピードチームスイッチ	SW2
スイッチャー回路基板	なし
アンテナ受信エリア拡張キット	EC10
拡張受信エリアアンテナキット	EC20
リモートアンテナキット	
(6フィート/1.83メートルケーブル付き)	ANT20-6
リモートアンテナキット	
(30フィート/9.14メートルケーブル付き)	ANT20-30



バッテリー充電器



バッテリー



マイク



スピーカー

図 1. ion|IQ™ 標準装置

ベースステーション

ドライブスルー音声システムの機能はすべて、ベースステーションを通じて動作します。ベースステーションはion|IQ™の電子心臓部です。外部ベースステーションの機能は図2と図3に、内部コントロールとインジケータは図11に示されています。

フロントパネル

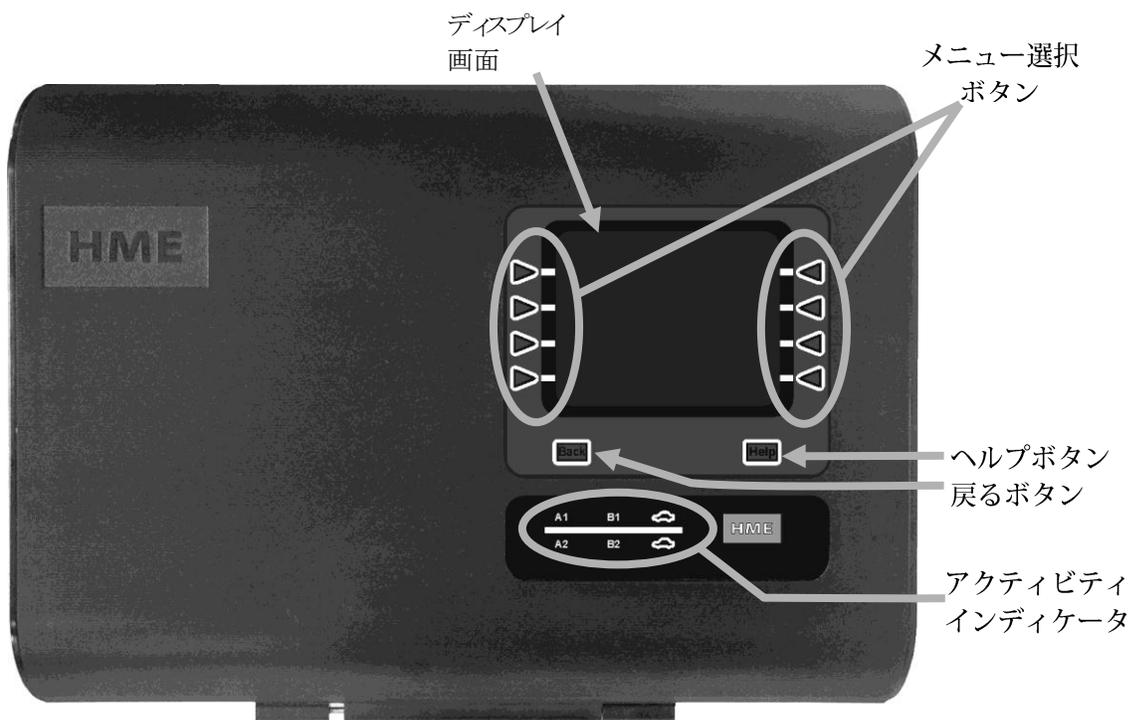
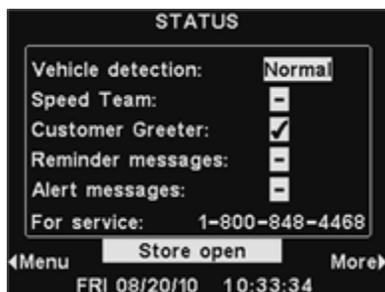


図 2. ベースステーションフロントパネルの機能

- ディスプレイ画面には、インストーラのセットアップと定常操作オプションのためのメニュー選択項目がすべて表示されます。任意のボタンを押して他の画面を選択するまで、ベースステーションには**STATUS (状態)**画面が表示されます。

注：

ボタン動作が全くないと、**STATUS (状態)**画面はオフ(スリープ状態)になります。



- メニュー選択ボタンは、ディスプレイ画面のメニューから選択を行なう際に使用します。
- **Help (ヘルプ)** ボタンを押すと、ion|IQTMに問題が生じた場合に必要な情報を入手できます。
- **Back (戻る)** ボタンを押すと、前のメニュー画面に戻ることができます。
- アクティビティ インディケータのランプは以下のように点灯します。

線の上 - レーン 1 アクティビティ (シングルまたはデュアルレーン操作) シングルライン操作のヘッドセットまたはデュアルレーン操作のレーン 1 ヘッドセットで A ボタンが押されると、**A1** ランプが点灯します。

シングルレーン操作のヘッドセットまたはデュアルレーン操作のレーン 1 ヘッドセットで B ボタンが押されると、**B1** ランプが点灯します

シングルライン操作のメニューボードまたはデュアルレーン操作のレーン 1 メニューボードに車両が現れると、線の上の車ランプが点灯します。

線の下 - レーン 2 アクティビティ (デュアルレーン操作のみ)

レーン 2 ヘッドセットで A ボタンが押されると、**A2** ランプが点灯します。

レーン 2 ヘッドセットで B ボタンが押されると、**B2** ランプが点灯します。

車両がレーン 2 メニューボードに現れると、線の下の車ランプが点灯します。

リヤパネルとサイドパネル

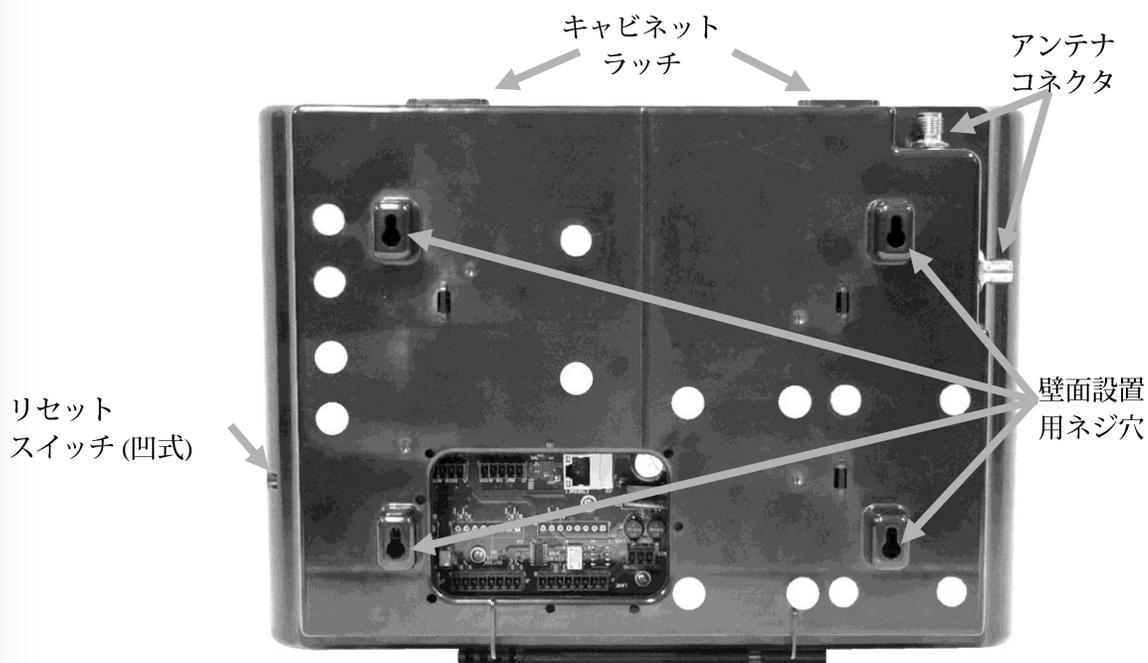


図 3. ベースステーションリヤパネルの機能

- キャビネット上部の両方のキャビネットラッチを同時に下に押し下げ、前方下に引くとキャビネットが開きます。
- アンテナコネクタは、付属のアンテナをネジで取り付けるためのものです。
- 4つのネジ穴は、壁にベースステーションを取り付けるために使用します。
- リセットスイッチは、ベースステーションのソフト再起動に使用します。リセットスイッチは、ベースステーション右側の小さな穴の中にあります。リセットスイッチを押すには、ペーパークリップなど先の尖った細いものを使用します。

ヘッドセット

機能とコントロール

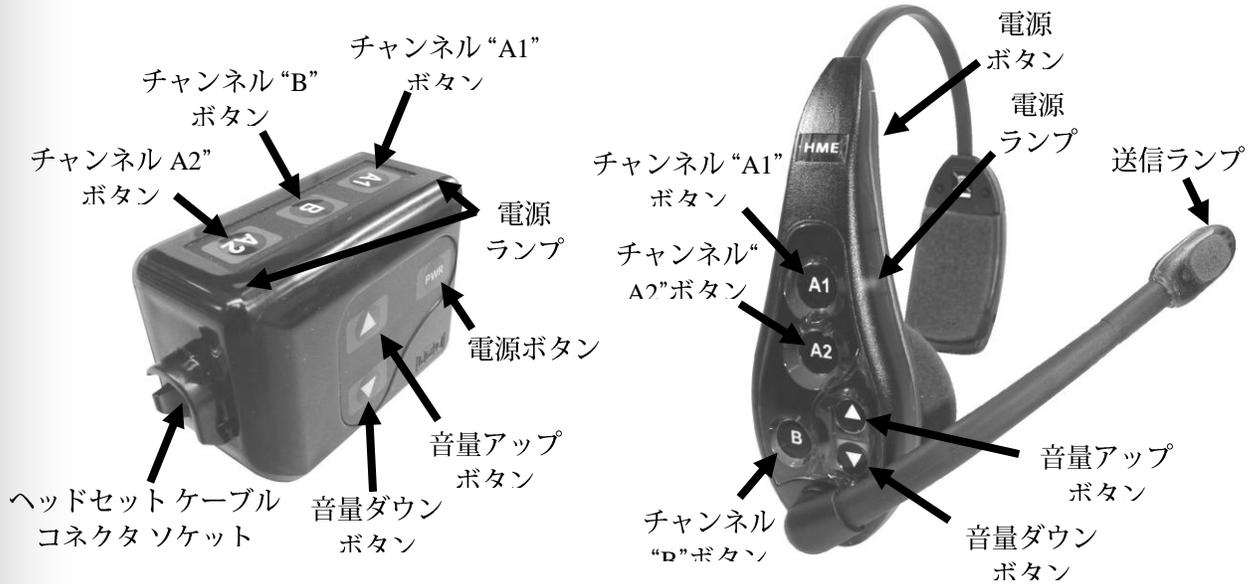


図 4. ヘッドセットコントロール

ヘッドセットの装着方法

- 口の右側または左側にマイク付きヘッドセットを装着します。
- 必要に応じて、ヘッドバンドとマイクブームを調整します。
- ヘッドセット付きベルトパックを使用する場合は、ベルトにベルトパックを装着するか、右または左の腰にウエストバンドを装着します。ヘッドセットケーブルの衣装用クリップをシャツの後ろと襟に取り付けます。
- Odyssey IQ の一体式ヘッドセットを使用している場合は、ヘッドセットバンドを首の後ろに回してヘッドセットを頭に装着します。

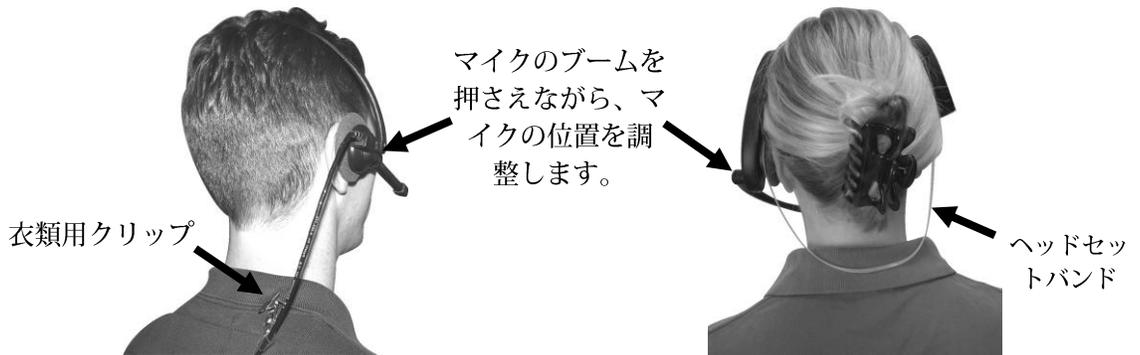


図 5. 正しいヘッドセットの装着

ヘッドセットコントロールの使用法

ヘッドセットコントロールボタンは、強く押すと有効になります。指のつめではなく指先で、ボタンを押します。

電源オンオフ

- **電源オン** — 電源ボタンを押して離します。
ベルトパックを使用している場合 — イヤホンから「belt-pac #, battery full/half/low (ベルトパック番号、バッテリーが満/半分/低)」という音声メッセージが流れ、ベルトパックの A1 と A2 ボタン横の赤色の電源ランプが点灯します。しばらくすると、1つのランプが消えて、もう1つのランプが緑色に変わります。「Lane 1 (or 2) ready. (レーン 1 (または 2) の準備ができました)」という音声メッセージが流れます。緑色のランプは、ユニット使用の準備ができたことを示します。デュアルレーン操作では、A1 横の緑色のランプはレーン 1 の準備ができたことを示し、A2 横の緑色のランプはレーン 2 の準備ができたことを示します。
Odyssey IQ を使用している場合 — イヤホンから「headset #, battery full/half/low (ヘッドセット番号、バッテリーが満/半分/低)」という音声メッセージが流れ、電源ランプと送信ランプの両方が赤色に点滅します。しばらくすると、電源ランプがレーン 1 の場合は緑色に、レーン 2 の場合は赤色に変わり、送信ランプが消えます。イヤホンから「Lane 1 (or 2). (レーン 1 (または 2))」という音声メッセージが流れます。
- **電源オフ** — PWR (電源) ボタンを約 2 秒間押し続けます。イヤホンから「belt-pac (or headset) off (ベルトパック (またはヘッドセット) がオフ)」という音声メッセージが流れ、電源ランプが消えます。

音量ダウンアップ

- **音量アップの調整** — 音量アップの ▲ ボタンを押して離します。ボタンを押す度に音量が上がり、イヤホンから高いピッチのビーブ音が聞こえます。最大音量に達すると、高いピッチのダブルビーブ音が鳴ります。音量アップの ▲ ボタンを押し続けると、音量が最大に達するまでピッチが上がりながら、ビーブ音が繰り返し聞こえます。音量アップの ▲ ボタンを離すまで、高いピッチのダブルビーブ音が鳴ります。
- **音量ダウンの調整** — 音量ダウンの ▼ ボタンを押して離します。ボタンを押す度に音量が下がり、イヤホンから低いピッチのビーブ音が聞こえます。最小音量に達すると、低いピッチのダブルビーブ音が鳴ります。音量ダウンの ▼ ボタンを押し続けると、音量が最小に達するまでピッチが下がりながら、ビーブ音が繰り返し聞こえます。音量ダウンの ▼ ボタンを離すまで、低いピッチのダブルビーブ音が鳴ります。

ヘッドセットの登録

注：

現時点で登録されているすべてのヘッドセットの電源をオンにしないと、使用していないヘッドセットを消去する際に未登録になります。

各ヘッドセットは、ion|IQ™ の設置時にベースステーションと共に使用するために登録されています。そのため、ベースステーションは電源が入った時点で登録済みのヘッドセットすべてを認識し、同じような周波数で稼働しているその他の電子装置と区別することができます。

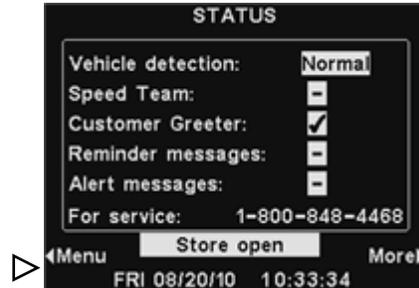
ヘッドセットは最大 15 個まで登録できます。交換する場合は、使い始める前に新しいものを登録する必要があります。ヘッドセットを交換すると、古いものはメモリに残ります。最大数の 15 を超えると (メモリー内で)、ベースステーションの HEADSET REGISTRATION (ヘッドセットの登録) 画面には、登録可能なヘッドセットがゼロであることを示すメッセージが表示されます。この場合、使用していないヘッドセットすべてを消去するか、現行の登録をすべて消去します。使用していないヘッドセットすべてを消去すると、新しい登録が開始できます。現行の登録をすべて消去した場合、使用中のヘッドセットをすべて再登録する必要があります。それぞれ使用しているヘッドセットを、同じ方法で一度に 1 個ずつ登録します。

各ヘッドセットを登録するには：

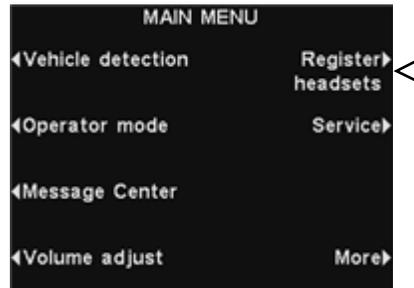
- 登録するすべてのヘッドセットの電源がオフになっていること、またベースステーションの電源がオンになっていることを確認してください。その他のヘッドセットの電源は、オンでもオフでも構いません。
- ベースステーションの **STATUS (状況)** 画面で、**Menu (メニュー)** ボタンを押します。

注：

登録中、ヘッドセットはベースステーションから6フィート (1.83メートル) 以内になければなりません。



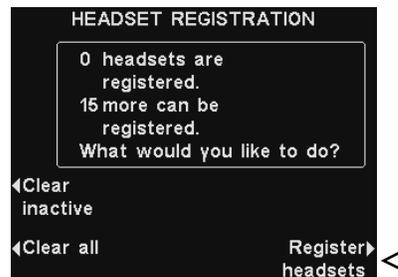
- **MAIN MENU (メインメニュー)** 画面で、**Register headsets (ヘッドセットの登録)** ボタンを押します。



注：

登録を消去する前に、中止するか継続するかを尋ねる警告メッセージが表示されます。

- **HEADSET REGISTRATION (ヘッドセットの登録)** 画面で、**Clear inactive (非アクティブの消去)** ボタンを押すと、電源がオフになっているヘッドセットの登録が抹消されます。
- **Clear all (すべて消去)** ボタンを押すと、ベースステーションに登録されているヘッドセットすべての登録が抹消され、ベースステーションが自動的に再起動します。



- ヘッドセットを登録するには、**HEADSET REGISTRATION (ヘッドセット登録)** 画面で、**Register headsets (ヘッドセットの登録)** ボタンを押します。

- **TO REGISTER HEADSETS** (ヘッドセットを登録するには) 画面のボックス内の指示に従います。



- ヘッドセットを1つだけ登録する場合は、**TO REGISTER HEADSETS** (ヘッドセットを登録するには) 画面の **Register single** (1つを登録) ボタンを押します。
- 複数のヘッドセットを登録する場合は、**TO REGISTER HEADSETS** (ヘッドセットを登録するには) 画面の **Register multi** (複数登録) ボタンを押し、残りのヘッドセットの登録を続けます。

それぞれの登録が正常に完了すると：

- ヘッドセットに割り当てられた ID 番号が表示されます。ID 番号には、0～9、A、B、C、D、E が連続して割り当てられます。



- ヘッドセットを登録したら、**Back** (戻る) ボタンを押して、登録モードを終了します。**MAIN MENU** (メインメニュー) または **STATUS** (状態) 画面に戻るまで、**Back** (戻る) ボタンを押します。
- ヘッドセットの電源ランプは緑色のままになります。

ヘッドセットの登録に問題がある場合：

米国では、HME カスタマサポート (1-800-848-4468) までご連絡ください。
米国以外の国では、各地域の HME 担当者までご連絡ください。

バッテリーの取り外しと交換

COM600BP Belt-pac (ベルトパック) バッテリー

バッテリーを変更するには：

ベルトパックの電源をオンした際にバッテリーが弱いと、イヤホンから「Battery low (バッテリー不足)」という音声がかかります。動作中にバッテリーが弱くなると、イヤホンから「Change battery (バッテリーを交換してください)」という音声がかかります。これらの音声が聞こえたら、ポーチからベルトパックを外し、バッテリーリリース ラッチを矢印の方向に動かします。図 6. ベルトパック バッテリーリリース ラッチ側のバッテリーの端を上引っ張り、リリース ラッチベルトパックから取り外すか、ベルトパックを裏返しにしてバッテリーを手のひらに取り出します。



バッテリーを交換するには：

ベルトパックのバッテリーを交換する場合は、取り外したバッテリーと同じ向きに、バッテリーの金属接点が付いている方の端をベルトパックのバッテリーホルダーに入れます。ラッチにカチッと収まるまで、バッテリーをバッテリーホルダーに注意しながら押し込みます。

Odyssey IQ ヘッドセット バッテリー

バッテリーを変更するには：

バッテリーが弱くなると、ヘッドセットから「Change battery. (バッテリーを交換してください)」という音声がかかります。この場合は、バッテリーリリースラッチを注意しながらスライドさせ、バッテリーを持ち上げてヘッドセットから取り外します。



図 7. ヘッドセットバッテリーリリースラッチ

バッテリーを交換するには：

ヘッドセットのバッテリーを交換する場合は、取り外したバッテリーと同じ向きに、バッテリーの金属接点が付いた方の端をヘッドセットのバッテリーホルダーに入れます。バッテリーリリース ラッチの下に所定の位置にカチッと収まるまで、バッテリーをバッテリーホルダーに注意しながら押し込みます。

バッテリーは、9 ページの指示に従って再充電します。

バッテリー充電器

バッテリー充電器は、同時に4つまでのバッテリーを充電できます。充電時間は約2時間半です。各充電ポート横のバッテリーの状態ランプについて以下に説明します。最大6つまでの完全充電済みバッテリーをバッテリー保管ポートで保管することが可能です。

- ポートが空だと、それぞれの充電ポートの横に黄色ランプが点灯します。
- 4つの充電ポートのいずれかに、定位置に収まるまでバッテリーを挿入します。
- 充電ポートのバッテリーの横の黄色ランプが点灯したままになっている場合は、**充電の失敗**を意味します。バッテリー充電器の横に記載されている診断指示に従ってください。
- 充電ポートのバッテリーの横の黄色ランプが点滅している場合は、**充電停止**、つまりバッテリーが熱くなり過ぎていることを意味します。室温を下げるか、涼しい場所に充電器を移動します。
- 充電中は、バッテリーの横に赤色の充電ランプが点灯します。
- バッテリーの充電が完了すると、充電ポートのバッテリーの横に緑色の準備完了ランプが点灯します。
- 完全充電済みのバッテリーは、保管ポートで保管します。

注意：

緑色の準備ランプが点灯するまでバッテリーを充電器から取り出さないでください。取り出してしまうと、充電器がリセットされ、充電サイクルが再開します。

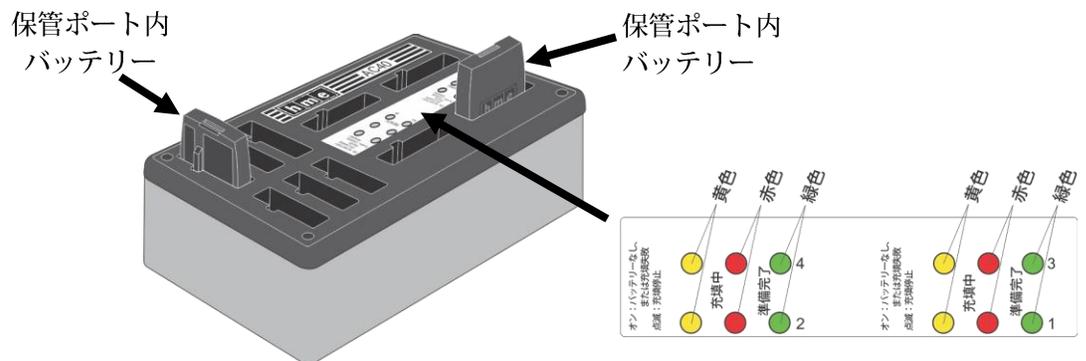


図 8. 充電器内のバッテリー

ion|IQ™ の操作

ion|IQ は、ハンズフリー (HF)、自動ハンズフリー (AHF)、またはプッシュトーク (PTT) で操作できます。

全二重式システムは、HF、AHF、PTT の操作に対応します。HF と AHF の操作では、通常の電話会話のように、通信を同時に送受信できます。AHF モードでは、お客様がドライブスルーレーンに入ると、送信と受信が自動的に有効になります。HF モードでは、送信と受信は Communitor の A1 または A2 ボタンを押して離すことによって有効になります。PTT モードでは、オペレータがお客様と会話している間は A1 または A2 ボタンを押し続ける必要があります。半二重式システムは PTT モードのみに対応し、オペレータが A1 または A2 ボタンを押している間は、お客様の客の声は聞こえません。

シングルレーン操作では、お客様がドライブスルーのレーンに入ると、ヘッドセットからビープ音が 1 回聞こえます。

デュアルレーン操作では、お客様がドライブスルーのレーンに入ると、レーン 1 用ヘッドセットからビープ音が 1 回、レーン 2 用ヘッドセットからはビープ音が 2 回聞こえます。

デュアルレーン操作では、1 つのレーンのお客様と交信している時に他のレーンに別のお客様が入ると、ヘッドセットからビープ音が聞こえます。接続しているレーンのスピーカーポストからお客様が離れると、他のレーンのお客様と通信するために A1 または A2 ボタンを押すまで、ヘッドセットから同じビープ音が 4 秒ごとに繰り返し聞こえます。

シングルレーンまたはデュアルレーンの店舗での操作については、以下のページの指示を参照してください。

注：

緑色の準備ランプが点灯するまでバッテリーを充電器から取り出さないでください。取り出してしまうと、充電器がリセットされ、充電サイクルが再開します。

ヘッドセット指示言語の変更

ヘッドセットから聞こえる指示言語を英語からスペイン語かフランス語に変更した後に英語に戻すには、電源をオフにし、音量ダウンの ▼ ボタンと A1 ボタンを押しながら PWR (電源) ボタンを押します。電源をオンにすると、ヘッドセットのイヤホンから聞こえる指示言語が変更されます。

ヘッドセット状態の取得

ヘッドセットの状態を入手するには、電源をオフにし、音量ダウンの ▼ ボタンと A2 ボタンを押しながら PWR (電源) ボタンを押します。電源をオンにすると、ヘッドセットのイヤホンから状態メッセージが聞こえます。

シングルレーン操作

ハンズフリー (HF) モード

- 電源を HF モードでオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量アップの ▲ と B ボタンを押しながら PWR (電源) ボタンを押して離します。ヘッドセットがこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入ると、ヘッドセットから警告音 (ビーブ音 1 回) が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- お客様と話すには、A1 または A2 ボタンを軽く押して離します。
- お客様との交信を終了するには、A1、A2、または B ボタンを軽く押して離します。
- 再びお客様と話すには、A1 または A2 ボタンを軽く押して離します。
- 必要な場合は、音量アップの ▲ ボタンと音量ダウンの ▼ ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

自動ハンズフリー (AHF) モード

注：

一度にひとりのヘッドセットオペレータのみが自動ハンズフリー機能を使うことができ、この機能をベースステーションで有効にする必要があります。AHF モード中にヘッドセットの電源をオフにすると、前の操作モードに自動的にリセットされます。

- 電源を AHF モードでオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップの ▲ と A1 ボタンを押しながら PWR (電源) ボタンを押して離します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入ると、ヘッドセットから警告音 (ビーブ音 1 回) が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- どのボタンも押さずに、お客様に話し、お客様の声を聞きます。
- お客様との交信を終了するには、A1、A2、または B ボタンを軽く押して離します。
- 再びお客様と話すには、A1 または A2 ボタンを軽く押して離します。
- 必要な場合は、音量アップの ▲ ボタンと音量ダウンの ▼ ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

プッシュトゥーク (PTT) モード

- 電源を PTT モードでオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量アップの ▲ と B ボタンを押しながら PWR (電源) ボタンを押して離します。ヘッドセットがこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入ると、ヘッドセットから警告音 (ビーブ音 1 回) が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- お客様と話すには、A1 または A2 ボタンを軽く押し続けます。お客様との会話を停止する (全二重式)、またはお客様の音声を聞く (半二重式) 場合は、ボタンを離します。
- 必要な場合は、音量アップの ▲ ボタンと音量ダウンの ▼ ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。

デュアルレーン操作

注：

Non-Dedicated (非専用)

にすると、ヘッドセットのオペレータは、お客様がどちらかのレーンに入った時点で警告音を聞くことができます。スイッチを

Dedicated (専用) にする

と、どちらのレーンのオペレータも自分のレーンにお客様が入った時だけ、警告音を聞くことができます。MS10 モードスイッチがない場合は、ベースステーションのメニューを使ってモードを変更します。MS10 を使用するには、ベースステーションの **OPERATOR MODE (オペレータモード)** 画面で、**dedicated mode (専用モード)** を Ext に設定する必要があります。

注：

各レーンでは、一度にひとりのヘッドセットのオペレータのみが自動ハンズフリー機能を使うことができます。オペレータが2番目のヘッドセットを構成しようとすると、ヘッドセットから「System busy (システムは使用中)」というメッセージが聞こえます。

AHF モードで操作中は、レーンは変更できません。

AHF モードでヘッドセットの電源をオフにすると、前の操作モードに自動的にリセットされます。

デュアルレーン操作では、2つのレーンがあり、各レーンに1つのオーダーポイントがあります。

ハンズフリー (HF) モード

- HF モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量アップの ▲ と B ボタンを押しながら PWR (電源) ボタンを押して離します。ヘッドセットがこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入った時、そのレーンが選択されている場合、ヘッドセットから警告音 (レーン 1 の場合はビーブ音 1 回、レーン 2 の場合はビーブ音 2 回) が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- お客様と話すには、レーン 1 の場合は A1 ボタンを、レーン 2 の場合は A2 ボタンを軽く押して離します。
- お客様との交信を終了するには、レーンにより A1 または A2、あるいは B ボタンを軽く押して離します。
- お客様と再び話すには、レーン 1 の場合は A1 ボタンを、レーン 2 の場合は A2 ボタンを軽く押して離します。
- 必要な場合は、音量アップの ▲ ボタンと音量ダウンの ▼ ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- レーンを変更するには、もう一方の A ボタンを軽く押して離します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

自動ハンズフリー (AHF) モード

- レーン 1 操作の場合、電源を AHF モードでオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップの ▲ と A1 ボタンを押しながら PWR (電源) ボタンを押して離します。
- レーン 2 操作の場合、電源を AHF モードでオンにするには、電源をオフにした状態で、音量アップの ▲ と A2 ボタンを押しながら PWR (電源) ボタンを押して離します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入った時、そのレーンが選択されている場合、ヘッドセットから警告音 (レーン 1 の場合はビーブ音 1 回、レーン 2 の場合はビーブ音 2 回) が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- どのボタンも押さずにお客様に話し、お客様の声を聞きます。
- お客様との交信を終了するには、レーンにより A1 または A2、あるいは B ボタンを軽く押して離します。
- お客様と再び話すには、レーン 1 の場合は A1 ボタンを、レーン 2 の場合は A2 ボタンを軽く押して離します。
- 必要な場合は、音量アップの ▲ ボタンと音量ダウンの ▼ ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。
- お客様の車がスピーカーポストまたはメニューボードから離れると、ヘッドセットは送信を停止します。

プッシュトゥーク (PTT) モード

- PTT モードで電源をオンにするには、ヘッドセットの電源をオフにした状態で、音量ダウンの ▼ と B ボタンを押しながら、PWR (電源) ボタンを押して離します。ヘッドセットがこの設定を記憶します。
- お客様の車がドライブスルーレーンに入った時、そのレーンが選択されている場合、ヘッドセットから警告音 (レーン 1 の場合はビーブ音 1 回、レーン 2 の場合はビーブ音 2 回) が聞こえ、スピーカーポストまたはメニューボードにいるお客様の声が聞こえるようになります。
- レーン 1 のお客様と話すには A1 ボタンを、レーン 2 のお客様と話すには A2 ボタンを軽く押し続けます。お客様との会話を停止する (完全二重)、またはお客様の声を聞く (半二重) には、ボタンを離します。
- 必要な場合は、音量アップの ▲ ボタンと音量ダウンの ▼ ボタンを使って、ヘッドセットから聞こえるお客様の音声レベルを調整します。

タンデム操作

タンデムはデュアルレーン操作の特殊ケースで、お客様がオーダーポイント #2 に入った時にオーダーポイント #1 にお客様がいない場合、「Please pull forward (前にお進みください)」というメッセージが流れます。ヘッドセットの操作は、デュアルレーン操作に説明されているものと同じです。

注：

タンデム操作では、オーダー受付係 #2 のヘッドセットが自動ハンズフリーモードに設定されている場合は、「Please pull forward (前にお進みください)」というメッセージはオーダーポイント #2 では再生されません。必要な場合は、受付係 #2 がオーダーポイント #2 のお客様の前に進むように伝えなければなりません。AHF モードでヘッドセットの電源をオフにすると、前の操作モードに自動的にリセットされます。

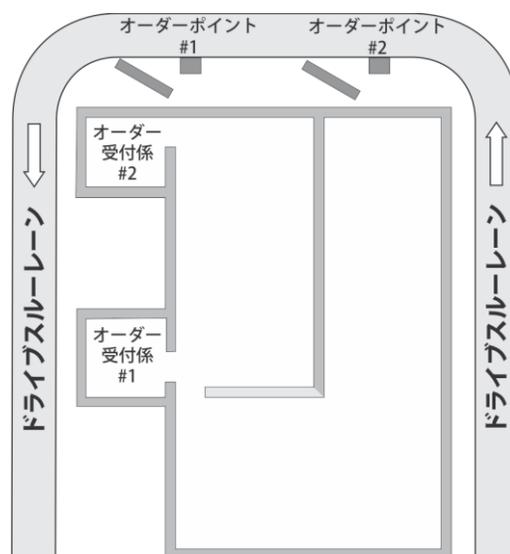


図 9. 一般的なタンデム式ドライブスルー

店舗内コミュニケーション

店舗内で他のヘッドセットオペレーターと連絡を取るには、B ボタンを押して話します。話が終わったら、ボタンを離します。シングルレーン操作では、最高 4 人までのヘッドセットオペレーターが全員 B ボタンを押し続けることで、電話会議のようなコミュニケーションを取ることができます。全員が B ボタンを押すことで、干渉なくお互いの会話が聞こえます。

デュアルレーン操作では、システムが「Split-B (スプリット B)」に設定されている場合、レーンのヘッドセットオペレーターのみが店舗内の会話を聞くことができます。システムが「Combined-B (結合 B)」操作に設定されている場合、両レーンのヘッドセットオペレーター全員に店舗内の通信が流れます。デュアルレーン操作では、最高 3 人までのヘッドセットオペレーターが全員 B ボタンを押し続けることで、電話会議のようなコミュニケーションを取ることができます。全員が B ボタンを押すことで、干渉なくお互いの会話が聞こえます。店舗内通信を行なっている時に車がレーンに入った場合は、お客様との交信のため、該当する A チャンネルに優先権が与えられ、使用可能な店舗内通信チャンネルの数が減ります。

オペレータモード

スピードチーム操作は忙しい時間帯に使用します。ヘッドセットを装着しているオーダー受付係が、A1、A2 または B ボタンを使って、外からのオーダーを店舗内にまわします。

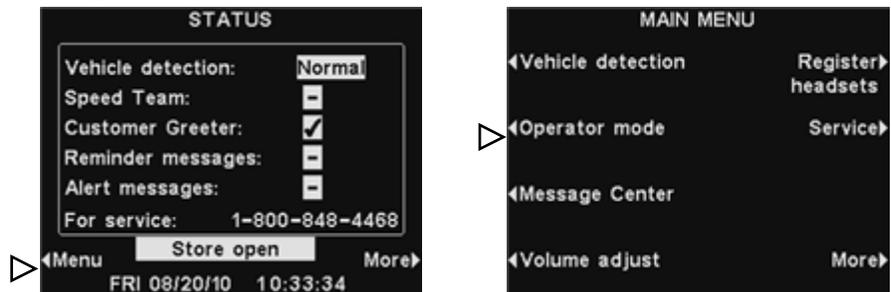
専用モードは、デュアルレーン設定です。専用モードでは、ヘッドセット装着のユーザーには車両の到着音と、担当のレーンからのお客様の音声のみが聞こえます。

注意：

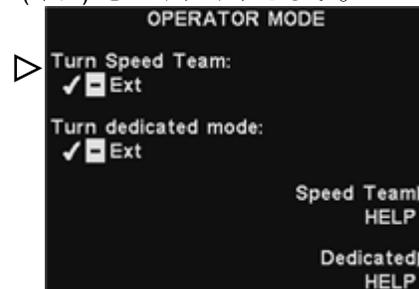
スピードチームを (オン) にすると、ベースステーションの多くの機能が無効になります。スピードチーム操作中は、車両の到着音とお客様の声は聞こえません。通常に注文を受ける場合は、スピードチームの設定は - (オフ) にしてください。

スピードチーム操作

スピードチーム操作を開始するには、ベースステーションの **STATUS** (状態) 画面で **Menu** (メニュー) ボタンを押した後、**MAIN MENU** (メインメニュー) 画面の **Operator mode** (オペレーターモード) ボタンを押します。



OPERATOR MODE (オペレーターモード) 画面で、**Turn Speed Team** (スピードチームにする・しない) ボタンを押して (オン) をハイライトします。通常操作に戻す場合は、**OPERATOR MODE** (オペレーターモード) 画面に戻り、**Turn Speed Team** (スピードチームにする・しない) ボタンを押して - (オフ) をハイライトします。



外付けのスピードチームスイッチがある場合は、**SPEED TEAM** (スピードチーム) 画面で **Ext** を選択し、オプションのリモートスピードチームスイッチを使って、スピードチーム操作のオン・オフを切り替えます。設定を保存するには、**Back** (戻る) ボタンを押します。

専用モード操作

専用モード操作を設定するには、**STATUS** (状態) 画面で **Menu** (メニュー) を選択し、**MAIN MENU** (メインメニュー) で **Operator mode** (オペレーターモード) を選択します。**OPERATOR MODE** (オペレーターモード) 画面で、専用モードボタンを押して (オン) をハイライトします。専用モードを (オン) に選択した場合、後で通常のモードに戻る場合は、- (オフ) を選択します。

設定を保存するには、**Back** (戻る) ボタンを押します。

注：

デュアルレーン操作の場合に限り、**Turn dedicated mode** (専用モードにする・しない) の選択肢と **Dedicated HELP** (専用ヘルプ) が **OPERATOR MODE** (オペレーターモード) 画面に表示されます。シングルレーンドライブスルーの場合、**Turn Speed Team** (スピードチームにする・しない) の選択肢と **Speed Team HELP** (スピードチームヘルプ) のみが **OPERATOR MODE** (オペレーターモード) 画面に表示されます。

メッセージセンターの操作

ヒント!

次に進む前に、メッセージセンターのメッセージを店舗内で再生する必要がある時間帯をすべて想定し、考慮することが重要です。最大 12 件の期間が設定できます。本書裏表紙の「メッセージセンターの設定ワークシート」が使用できます。必要な時間帯を判断したら、メッセージセンターの設定を続ける前に、「スケジュール時間」セクションを読み、店舗の時間帯を設定してください。

メッセージセンターの設定を行なう前に、現在の時刻と日付、店舗の開店時間と閉店時間を設定する必要があります。

メッセージセンターでは、指定の時間帯に様々なイベントによってトリガーされるメッセージや、ヘッドセットや天井スピーカーからスピーカーポストにいるお客様やクルーメンバーに流すメッセージを設定できます。

一部のメッセージは、事前に名前が付けられ録音済みです。すべてのメッセージは、ユーザーの特定要件を満たすためにカスタマイズすることができます。以下に 3 種類のメッセージについて説明します。次ページの表には、工場出荷時の事前設定のメッセージの名前と内容が示されています。以下の表では、メッセージセンターのセットアップ方法の手順について説明します。

本書の最後には、メッセージ設定に関する「メッセージセンタークイックスタートガイド」が掲載されています。

顧客歓迎メッセージ

顧客歓迎メッセージは、スピーカーポストでお客様に流れるメッセージです。メッセージは通常、お客様を迎え、セール商品をお知らせするために使用されます。「Store Closed (閉店中)」と「Pull Forward (前進) (タンデムドライブスルー専用) メッセージを除き、顧客歓迎メッセージは事前に名前が付けられ録音されています。顧客歓迎メッセージはすべて、店舗のニーズに合わせて、名前の変更、録音、再録音が可能です。

リマインダーメッセージ

リマインダーメッセージは、日常業務を行う際にクルーメンバーに注意事項などの念を押すためにヘッドセットから流れます。天井スピーカーから流れるように設定することもできます。事前に名前が付けられ録音済みのメッセージが 12 件あり、店舗のニーズに合わせて名前を変更して再録音することも可能です。必要に応じて名前を付けて録音できる 3 件の「空」のメッセージもあります。リマインダーメッセージは、すべてのヘッドセットに、または指定ヘッドセットのみに送信できます。

警告メッセージ

警告メッセージは、ドアが開いたままになっていることやお客様の来店など、クルーメンバーに注意を喚起するために、ヘッドセットを通じて流れます。警告メッセージは、すべてのヘッドセットに送信したり、指定のヘッドセットや天井スピーカーからのみ流れるようにすることもできます。事前に名前が付けられた録音済みのメッセージが 4 件あり、店舗のニーズに合わせて名前を変更して再録音することも可能です。空のメッセージは 16 件あり、そのうち 1 件の追加メッセージはシングルレーン操作で、または 2 件の追加メッセージはデュアルレーン操作で警告メッセージ用として再録音、使用することができます。

メッセージセンター メッセージ

	名前	内容
顧客歓迎メッセージ	All Day 1 (全日 1)	事前録音はありません。
	All Day 2 (全日 2)	事前録音はありません。
	Breakfast 1 (朝食 1)	事前録音はありません。
	Breakfast 2 (朝食 2)	事前録音はありません。
	Lunch 1 (昼食 1)	事前録音はありません。
	Lunch 2 (昼食 2)	事前録音はありません。
	Snack 1 (スナック 1)	事前録音はありません。
	Snack 2 (スナック 2)	事前録音はありません。
	Dinner 1 (夕食 1)	事前録音はありません。
	Dinner 2 (夕食 2)	事前録音はありません。
	Store Closed (閉店中)	Thank you for your visit, but we are currently closed.(ご来店ありがとうございます。現在閉店中です。) Please visit us again during our normal business hours. (営業時間内のご来店をお待ちしております。)
Pull Forward* (前進)*	Hello, please pull forward to the next speaker. Thanks. (ご来店ありがとうございます。次のスピーカーまで車をお進めください。)* (タンデムドライブスルーのみ)	
リマインダーメッセージ	Hand Washing (手洗い)	Please wash your hands.(手を洗ってください。)
	Sanitizer (除菌)	Please change sanitizer solution. (殺菌剤を交換してください。)
	DR Trash (厨房のごみ箱)	Please check the dining room trash. (厨房のごみ箱をチェックしてください。)
	HAACP	Please complete the HAACP shift checklist. (HAACP シフトチェックリストを完了してください。)
	Quality Check (品質チェック)	Please complete the shift quality check. (シフト品質チェックを完了してください。)
	Lot Check (駐車場チェック)	Please complete a parking lot check. (駐車場チェックを完了してください。)
	Restroom Check (トイレチェック)	Please check the restrooms. (トイレをチェックしてください。)
	Pre-Rush (混雑前)	Please complete the pre-rush tasks for your workstation. (混雑前に行なうワークステーションのタスクを完了してください。)
	Post-Rush (混雑後)	Please complete the post-rush tasks for your workstation. (混雑後に行なうワークステーションのタスクを完了してください。)
	Headset Status (ヘッドセットの状態)	To check headset status, press and hold A2 and volume down while turning on the power. (ヘッドセットの状態をチェックするには、電源をオンにする時に A2 と音量ダウンを押し続けます。)
	Change Language (言語の変更)	To change headset prompt language, press and hold A1 and volume down while turning on the power. (ヘッドセットの指示言語を変更するには、電源をオンにする時に A1 と音量ダウンを押し続けます。)
Hands Free ON (ハンズフリー オン)	To turn headset hands free mode on, press and hold B and volume up while turning on the power. (ヘッドセットのハンズフリーモードをオンにするには、電源が入っている時に B とボリューム アップを押し続けます。)	
Empty 1-3 (空 1-3)	事前録音はありません。	
警告メッセージ	Freezer Door (冷凍庫ドア)	The freezer door has been left open. (冷凍庫のドアが開いたままになっています。)
	Cooler Door (冷却器ドア)	The cooler door has been left open. (冷却器のドアが開いたままになっています。)
	Back Door (裏口)	The back door has been left open. (裏口が開いたままになっています。)
	Lobby Door (ロビードア)	A guest has entered the lobby. (お客様がロビーに入りました。)
	Empty 1 (空 1)	事前録音はありません。
	Empty 2-16 (空の 2-16)	事前録音はありません。

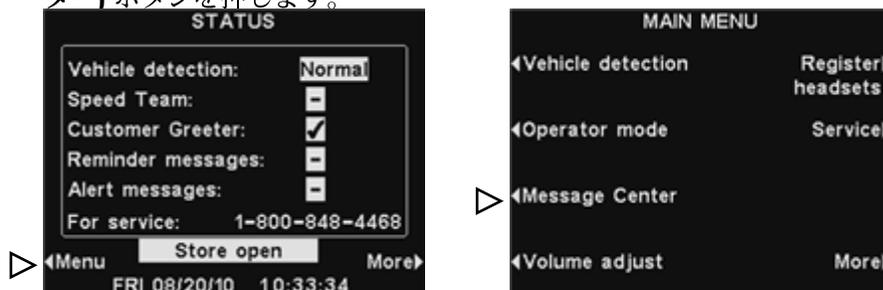
顧客歓迎メッセージは、ドライブスルーレーンの車両検出に加え、時刻と日付によってトリガーされます。

リマインダーメッセージは、時刻と日付によってのみトリガーされます。

警告メッセージは、入力信号に加え、時刻と日付またネットワークイベントによってトリガーされます。

顧客歓迎メッセージの設定

顧客歓迎メッセージを再生する時間帯や場所を設定する、または顧客歓迎メッセージに名前を付けたり録音したりするには、ベースステーションの **STATUS (状態)** 画面で **Menu (メニュー)** ボタンを押し、その後、**MAIN MENU (メインメニュー)** で **Message Center (メッセージセンター)** ボタンを押します。



MESSAGE CENTER MENU (メッセージセンターメニュー) で **Customer Greeter (顧客歓迎メッセージ)** ボタンを押します。



CUSTOMER GREETER (顧客歓迎メッセージ) 画面でメッセージを選択するには、▲ (アップ) または ▼ (ダウン) ボタンを押して希望するメッセージをハイライトします。

メッセージを編集するには、メッセージを選択し、**Edit (編集)** ボタンを押します。

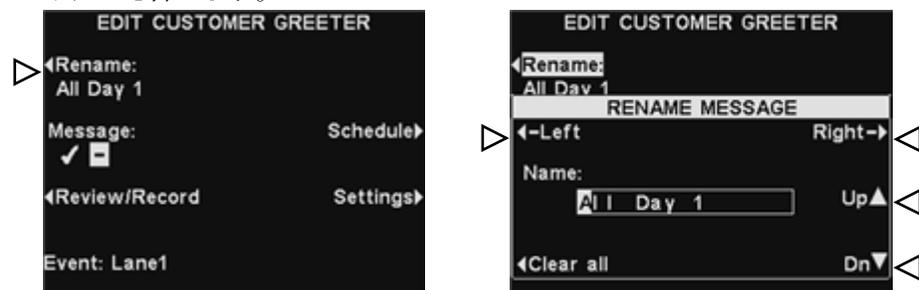
注：

Up (アップ) ボタンだけを使って名前を編集し始めると、大文字の英字、数字、小文字の英字の順に文字が表示されます。**Dn (ダウン)** ボタンだけを使うと、文字は逆の順序で表示されます。

ハイライトを別の位置に動かす度に **Up (アップ)** または **Dn (ダウン)** のボタンを使うと、ハイライト表示には最後に入力した文字の次の文字から順に表示されます。

メッセージ名の変更

選択したメッセージの名前を変更するには、**EDIT CUSTOMER GREETER (顧客歓迎メッセージの編集)** 画面で **Rename (名前の変更)** ボタンを押します。



RENAME MESSAGE (メッセージの名前変更) 画面で、**Left (左)** と **Right (右)** ボタンを使って、変更する **Name (名前)** フィールド内のハイライト表示を英字または数字に移動するか、**Clear all (すべてを消去)** ボタンを押して名前全体を削除/置換します。**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを使って、英字や数字をハイライト表示のボックスに入力し、**Right (右)** ボタンを使って、ハイライト表示を次の位置に移動します。完了したら、**Back (戻る)** ボタンを押して新しい名前を保存します。

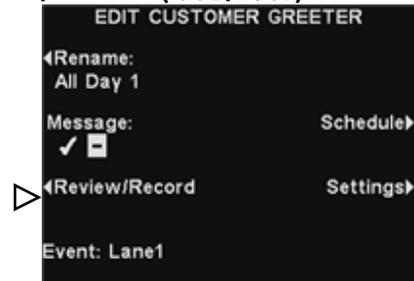
メッセージのオン/オフ

選択したメッセージをオンまたはオフにするには、**EDIT CUSTOMER GREETER** (顧客歓迎メッセージの編集) 画面で **Message** (メッセージ) ボタンを押し、✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。**Back** (戻る) ボタンを押して設定を保存します。



メッセージの確認または録音

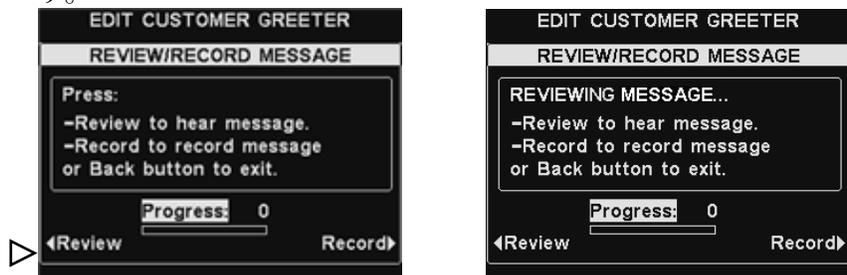
選択した既存のメッセージを確認する、または新しいメッセージを記録するには、**EDIT CUSTOMER GREETER** (顧客歓迎メッセージの編集) 画面で **Review/Record** (確認/録音) ボタンを押します。



注:

確認されたメッセージはすべてのヘッドセットから再生されます。メッセージは、レーンに車両がないときだけに確認できます。

既存のメッセージを聞くには、**REVIEW/RECORD MESSAGE** (メッセージの確認/録音) 画面で、**Review** (確認) ボタンを押します。メッセージはすべてのヘッドセットから再生され、画面に「**REVIEWING MESSAGE...**(メッセージの確認中)」というメッセージが表示されます。



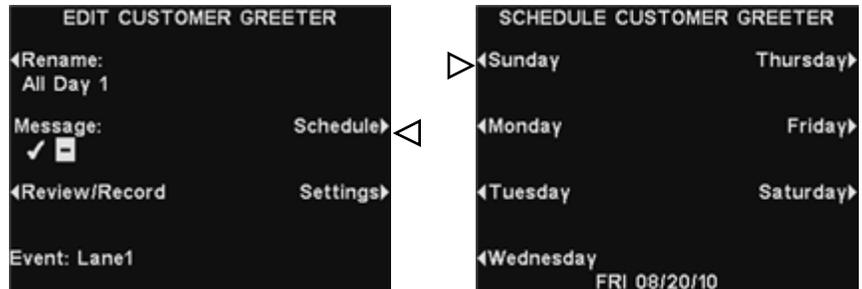
新しいメッセージを録音するには、**REVIEW/RECORD MESSAGE** (メッセージの確認/録音) 画面で **Record** (録音) ボタンを押します。



画面の **READY TO RECORD** (録音の準備) の指示に従います。ヘッドセットの B ボタンを押し続けると、最高 16 秒間のメッセージを録音できます。**Progress** (プログレス) インジケーターが録音の残り時間を示します。

メッセージのスケジュール

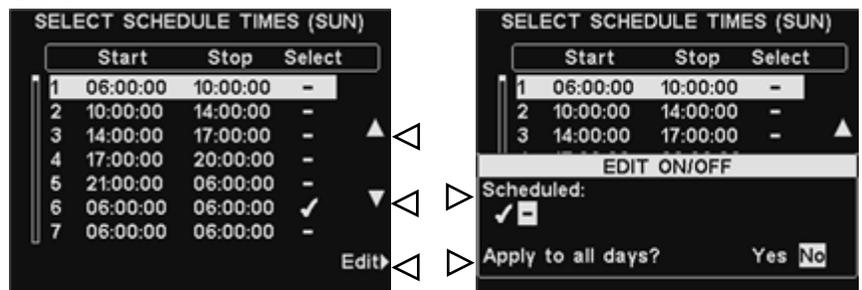
選択したメッセージのスケジュールを選択するには、**EDIT CUSTOMER GREETER** (顧客歓迎メッセージの編集) 画面で **Schedule** (スケジュール) ボタンを押します。



SCHEDULE CUSTOMER GREETER (顧客歓迎メッセージのスケジュール) 画面で、選択したメッセージの再生日のボタンを押して選択します。

注：

SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面にリストされている時間帯の開始と停止時刻を編集するには、**MESSAGE CENTER MENU** (メッセージセンターメニュー) に移動し、**Edit schedule times** (スケジュール時間の編集) を選択します。



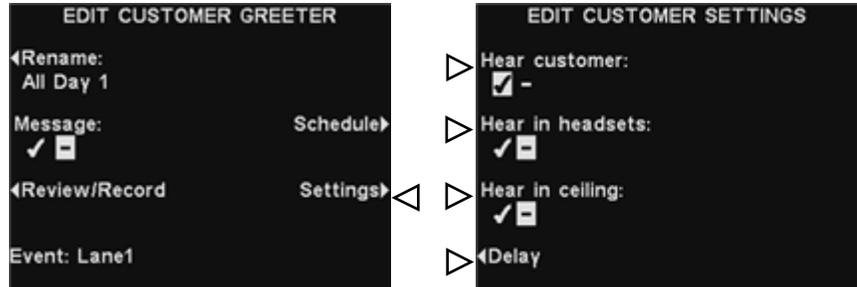
SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面で、▲ (アップ) と ▼ (ダウン) のボタンを押して 12 の使用可能な時間帯をスクロールし、選択したメッセージを再生する時間帯を選択します。希望する時間帯をハイライトしたら、**Edit** (編集) ボタンを押します。

EDIT ON/OFF (編集オン/オフ) 画面で **Scheduled** (スケジュール済み) ボタンを押して、選択した時間帯に対してメッセージを ✓ (オン) または - (オフ) にします。毎日この時間帯にメッセージをオンまたはオフにする場合は、**Apply to all days** (全日に適用) ボタンを押して **Yes** (はい) を選択します。**No** (いいえ) を選択すると、この変更は選択された日だけに適用されます。

Back (戻る) ボタンを押して設定を保存します。

メッセージ再生の設定

選択した顧客メッセージを流す場所 (スピーカーポストに加えて) を編集するには、**EDIT CUSTOMER GREETER** (顧客歓迎メッセージの編集) 画面で **Settings** (設定) ボタンを押します。



EDIT CUSTOMER SETTINGS (顧客設定の編集) 画面で、選択した顧客歓迎メッセージを流す、または流さない場所に該当するボタンを押し、**✓** (オン) または **-** (オフ) をハイライトします。

Hear customer: (顧客の声を聞く) に **✓** (オン) を選択すると、選択した顧客歓迎メッセージが流れると共に、スピーカーポストにいるお客様の声も聞こえます。**Hear customer: (顧客の声を聞く)** に **-** (オフ) を選択すると、メッセージの再生が完了するまでお客様の声は聞こえません。

Hear in headsets (ヘッドセットで流す) と **Hear in ceiling (天井から流す)** のスピーカー設定では、選択した顧客歓迎メッセージをこれらの場所で聞こえるようにするかどうかを選択できます。

顧客メッセージがトリガーされてから再生が始まるまでの遅延時間を設定するには、**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを使用して、ハイライト表示のボックスの数字を変更し、ハイライト表示を逆方向に移動するには **Left (左)** または **Right (右)** ボタンを使います。



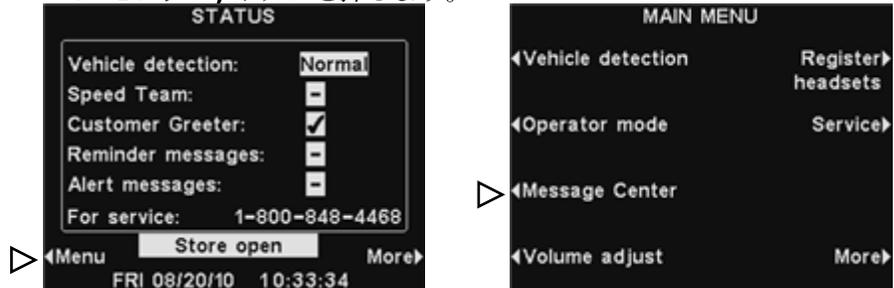
完了したら、**Back (戻る)** ボタンを押して設定を保存します。

注：

顧客歓迎メッセージは、他の設定に関係なく、常にドライブスルーのスピーカーに送られます。メッセージがオフの場合、スピーカーからは何も聞こえてきません。

リマインダーメッセージの設定

リマインダーメッセージを再生する時間帯と場所を設定する、またはリマインダーメッセージに名前を付けたり録音したりするには、ベースステーションの **STATUS (状態)** 画面で **Menu (メニュー)** ボタンを押し、その後、**MAIN MENU (メインメニュー)** で **Message Center (メッセージセンター)** ボタンを押します。



MESSAGE CENTER MENU (メッセージセンターメニュー) で **Reminders (リマインダーメッセージ)** ボタンを押します。



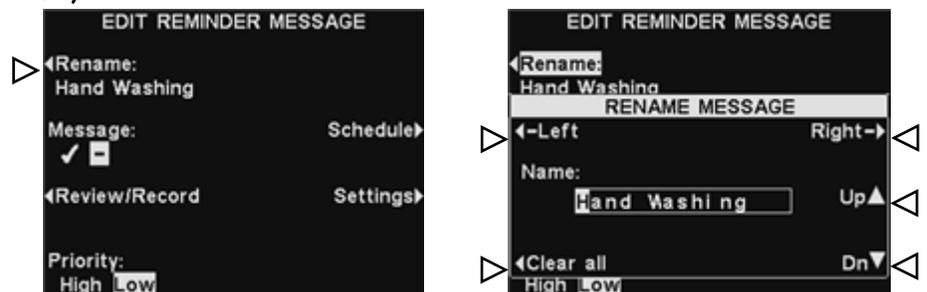
REMINDER MESSAGES (リマインダーメッセージ) 画面でメッセージを選択するには、▲ (アップ) または▼ (ダウン) ボタンを押して希望するメッセージをハイライトします。メッセージを編集するには、メッセージを選択し、**Edit (編集)** ボタンを押します。

注：

Up (アップ) ボタンだけを使って名前を編集し始めると、大文字の英字、数字、小文字の英字の順に文字が表示されます。**Dn (ダウン)** ボタンだけを使うと、文字は逆の順序で表示されます。ハイライトを別の位置に動かす度に **Up (アップ)** または **Dn (ダウン)** のボタンを使うと、ハイライト表示には最後に入力した文字の次の文字から順に表示されます。

メッセージ名の変更

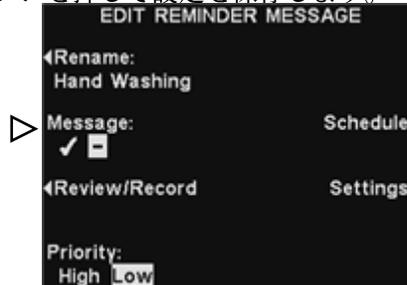
選択したメッセージの名前を変更するには、**EDIT REMINDER MESSAGE (リマインダーメッセージの編集)** 画面で **Rename (名前の変更)** ボタンを押します。



RENAME MESSAGE (メッセージの名前変更) 画面で、**Left (左)** と **Right (右)** ボタンを使って、変更する **Name (名前)** フィールド内のハイライト表示を英字または数字に移動するか、**Clear All (すべてを消去)** ボタンを押して名前全体を削除または置換します。**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを使って、英字や数字をハイライト表示のボックスに入力し、**Right (右)** ボタンを使って、ハイライト表示を次の位置に移動します。完了したら、**Back (戻る)** ボタンを押して新しい名前を保存します。

メッセージのオン/オフ

選択したメッセージをオンまたはオフにするには、**EDIT REMINDER MESSAGE** (リマインダーメッセージの編集) 画面で **Message** (メッセージ) ボタンを押し、**✓** (オン) または **-** (オフ) をハイライトします。**Back** (戻る) ボタンを押して設定を保存します。

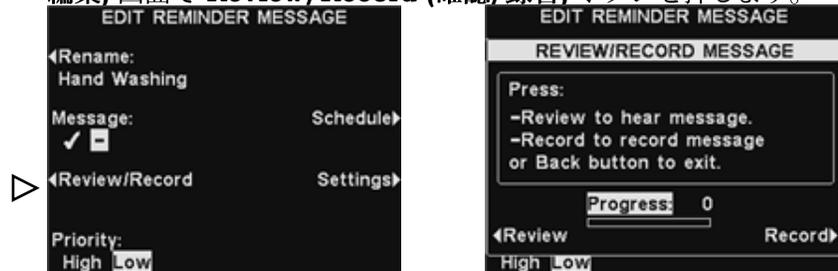


メッセージの確認または録音

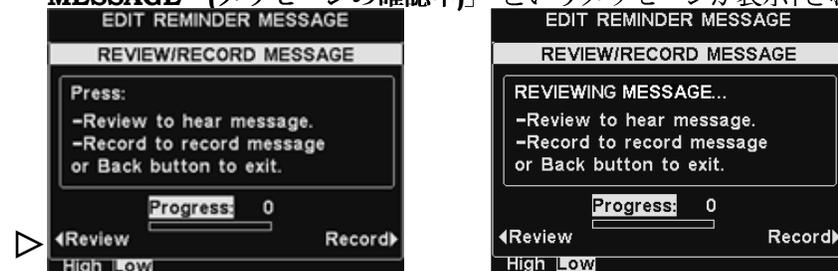
選択した既存のメッセージを確認する、または新しいメッセージを記録するには、**EDIT REMINDER MESSAGE** (リマインダーメッセージの編集) 画面で **Review/Record** (確認/録音) ボタンを押します。

注:

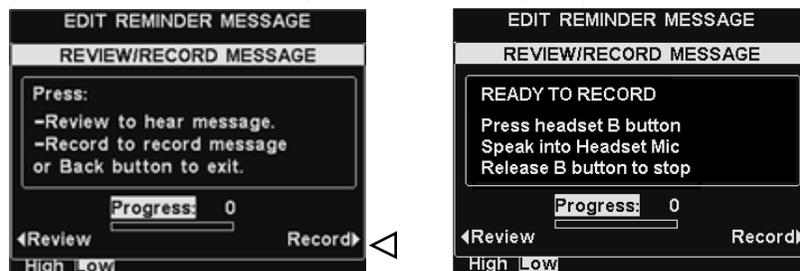
確認されたメッセージはすべてのヘッドセットから再生されます。メッセージは、レーンに車両がないときに確認できます。



既存のメッセージを聞くには、**REVIEW/RECORD MESSAGE** (メッセージの確認/録音) 画面で、**Review** (確認) ボタンを押します。メッセージはすべてのヘッドセットから再生され、画面に「**REVIEWING MESSAGE...** (メッセージの確認中)」というメッセージが表示されます。



新しいメッセージを録音するには、**REVIEW/RECORD MESSAGE** (メッセージの確認/録音) 画面で **Record** (録音) ボタンを押します。



画面の**READY TO RECORD** (録音の準備) の指示に従います。ヘッドセットの B ボタンを押した後、最高 10 秒間のメッセージが録音できます。**Progress** (プログレス) インジケーターが録音の残り時間を示します。

注：

優先度の低いリマインダーメッセージが、お客様との交信時に再生されるようにスケジュールされている場合、メッセージは取り消されます。お客様との交信時に優先度の高いリマインダーメッセージの再生がスケジュールされていると、そのメッセージはお客様との交信が終わった後に再生されます。

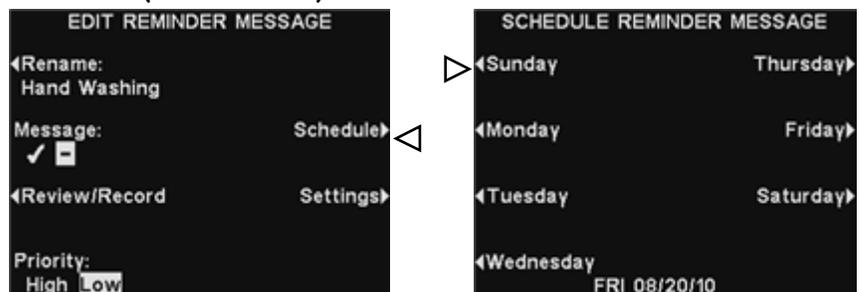
メッセージの優先度

選択したメッセージの優先度を設定するには、**EDIT REMINDER MESSAGE** (リマインダーメッセージの編集) 画面で **Priority** (優先度) ボタンを押し、**High** (高) または **Low** (低) をハイライトします。**Back** (戻る) ボタンを押して設定を保存します。



メッセージのスケジュール

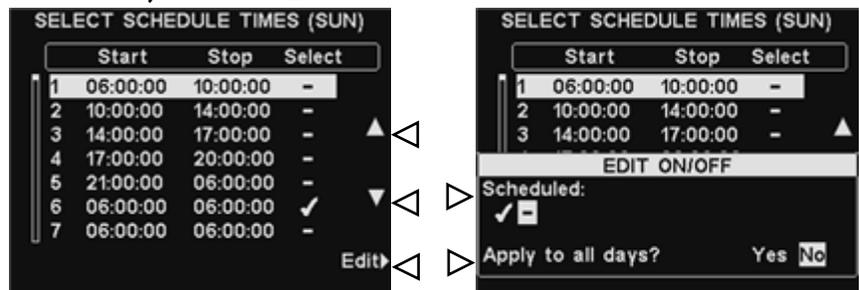
選択したメッセージのスケジュールを選択するには、**EDIT REMINDER MESSAGE** (リマインダーメッセージの編集) 画面で **Schedule** (スケジュール) ボタンを押します。



SCHEDULE REMINDER MESSAGE (リマインダーメッセージのスケジュール) 画面で、選択したメッセージの再生日のボタンを押します。

注：

SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面にリストされている時間帯の開始と停止時刻を編集するには、**MESSAGE CENTER MENU** (メッセージセンターメニュー) に移動し、**Edit schedule times** (スケジュール時間の編集) を選択します。



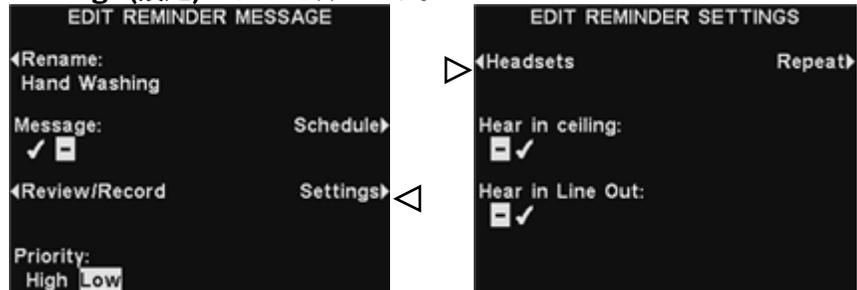
SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面で、▲ (アップ) と ▼ (ダウン) のボタンを押して 12 の使用可能な時間帯をスクロールし、選択したメッセージを再生する時間帯を選択します。希望する時間帯をハイライトしたら、**Edit** (編集) ボタンを押します。

EDIT ON/OFF (編集オン/オフ) 画面で **Scheduled** (スケジュール済み) ボタンを押して、選択した時間帯に対してメッセージをオンまたはオフにします。毎日この時間帯にメッセージをオンまたはオフにする場合は、**Apply to all days** (全日に適用) ボタンを押して **Yes** (はい) を選択します。**No** (いいえ) を選択すると、この変更は選択された日だけに適用されます。

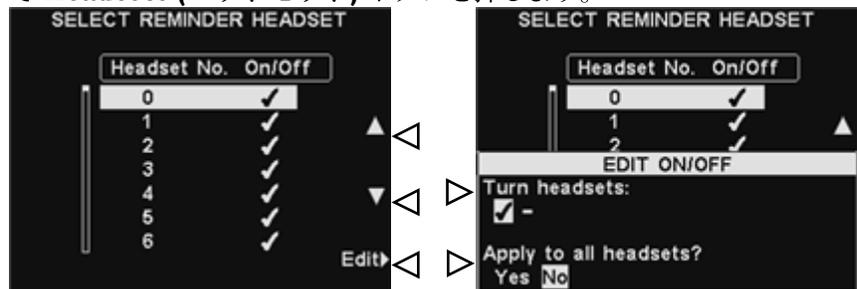
Back (戻る) ボタンを押して設定を保存します。

メッセージ再生の設定

選択したリマインダーメッセージのスケジュールを選択するには、**EDIT REMINDER MESSAGE** (リマインダーメッセージの編集) 画面で **Settings** (設定) ボタンを押します。



選択したリマインダーメッセージを流す特定のヘッドセットを指定するには、**EDIT REMINDER SETTINGS** (リマインダー設定の編集) 画面で **Headsets** (ヘッドセット) ボタンを押します。



注：

初期設定により、メッセージはすべてのヘッドセットで再生されます。

SELECT REMINDER HEADSETS (リマインダーヘッドセットの選択) 画面で ▲ (アップ) と ▼ (ダウン) ボタンを押して、選択したリマインダーメッセージを ✓ (オン) または - (オフ) にするヘッドセットの番号を選択し、**Edit** (編集) ボタンを押します。

選択したヘッドセットで、メッセージを ✓ (オン) または - (オフ) にするには、**EDIT ON/OFF** (編集 オン/オフ) 画面で **Turn Headsets** (ヘッドセットでの使用) ボタンを押し、✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。すべてのヘッドセットで、メッセージを ✓ (オン) または - (オフ) にするには、**Apply to all headsets?** (すべてのヘッドセットに適用しますか) ボタンを押し、**Yes** (はい) または **No** (いいえ) をハイライトします。

Back (戻る) ボタンを 2 回押して **EDIT REMINDER SETTINGS** (リマインダー設定の編集) 画面に戻ります。



注：

天井スピーカーまたはライン出力からリマインダーメッセージが聞こえるように ✓ (オン) を選択した場合は、メッセージが聞こえるように音量が設定されていることを必ず確認してください。これを行うには、**MAIN MENU** (メインメニュー) に戻り、**Volume adjust** (音量調整) を選択し、指示に従います。

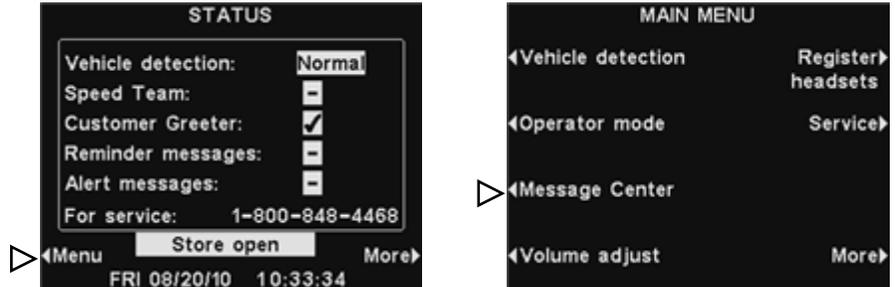
選択したリマインダーメッセージを天井スピーカーから流す、または流さないようにするには、**Hear in ceiling** (天井から流す) ボタンを押して ✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。

選択したリマインダーメッセージをライン出力から流す、または流さないようにするには、**Hear in Line Out** (ライン出力から流す) ボタンを押して ✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。

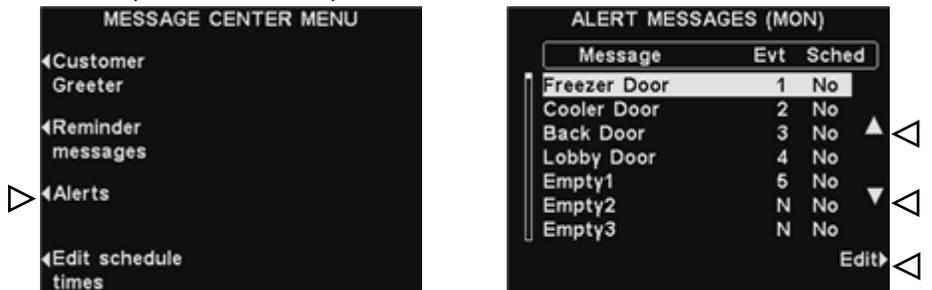
リマインダーメッセージを選択した間隔で繰り返し流すには、**EDIT REMINDER SETTINGS** (リマインダー設定の編集) 画面で **Repeat** (繰り返し) ボタンを押し、**Left** (左) または **Right** (右) ボタンを使って **Time** (時間) フィールドのハイライト表示を左や右に移動して時間、分、秒 (HH:MM:SS) を変更します。また **Up** (アップ) と **Dn** (ダウン) ボタンを使って、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。

警告メッセージの設定

警告メッセージを再生する時間帯と場所を設定する、または警告メッセージに名前を付けたり録音したりするには、ベースステーションの **STATUS (状態)** 画面で **Menu (メニュー)** ボタンを押してから、**MAIN MENU (メインメニュー)** で **Message Center (メッセージセンター)** ボタンを押します。



MESSAGE CENTER MENU (メッセージセンターメニュー) で **Alerts (警告メッセージ)** ボタンを押します。



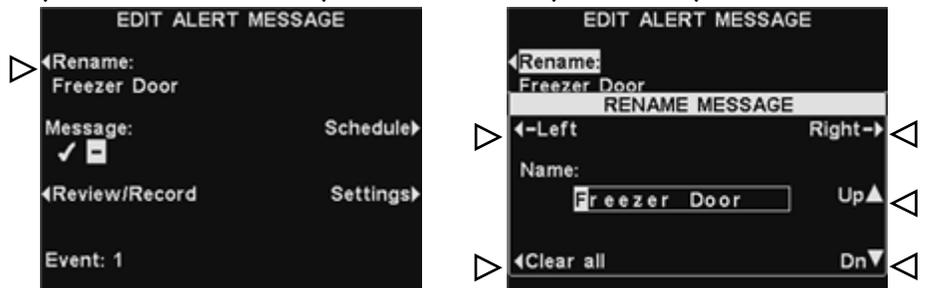
ALERT MESSAGES (警告メッセージ) 画面でメッセージを選択するには、▲ (アップ) または▼ (ダウン) ボタンを押して希望するメッセージをハイライトします。メッセージを編集するには、メッセージを選択し、**Edit (編集)** ボタンを押します。

注：

Up (アップ) ボタンだけを使って名前を編集し始めると、大文字の英字、数字、小文字の英字の順に文字が表示されます。**Dn (ダウン)** ボタンだけを使うと、文字は逆の順序で表示されます。ハイライトを別の位置に動かす度に **Up (アップ)** または **Dn (ダウン)** のボタンを使うと、ハイライト表示には最後に入力した文字の次の文字から順に表示されます。

メッセージ名の変更

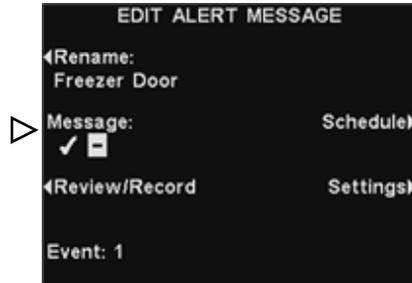
選択したメッセージの名前を変更するには、**EDIT ALERT MESSAGE (警告メッセージの編集)** 画面で **Rename (名前の変更)** ボタンを押します。



RENAME MESSAGE (メッセージの名前変更) 画面で、**Left (左)** と **Right (右)** ボタンを使って、変更する **Name (名前)** フィールド内のハイライト表示を英字または数字に移動するか、**Clear all (すべてを消去)** ボタンを押して名前全体を削除または置換します。**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを使って、英字や数字をハイライト表示のボックスに入力し、**Right (右)** ボタンを使って、ハイライト表示を次の位置に移動します。完了したら、**Back (戻る)** ボタンを押して新しい名前を保存します。

メッセージのオン/オフ

選択したメッセージをオンまたはオフにするには、**EDIT ALERT MESSAGE (警告メッセージの編集)** 画面で **Message (メッセージ)** ボタンを押し、✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。**Back (戻る)** ボタンを押して設定を保存します。

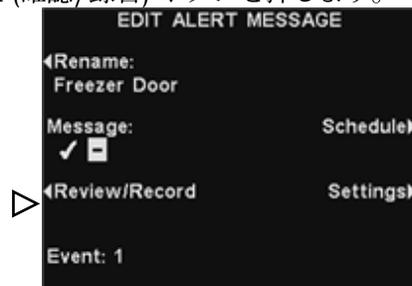


メッセージの確認または録音

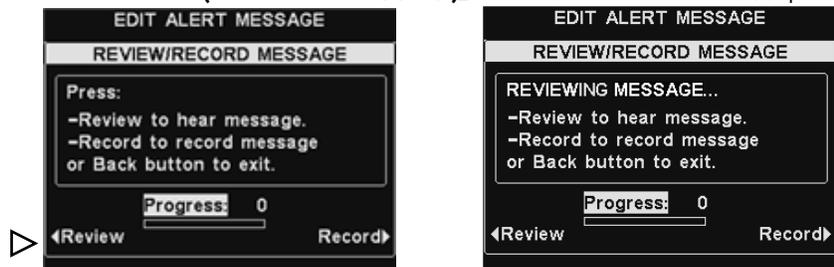
選択した既存のメッセージを確認する、または新しいメッセージを記録するには、**EDIT ALERT MESSAGE (警告メッセージの編集)** 画面で **Review/Record (確認/録音)** ボタンを押します。

注:

確認されたメッセージはすべてのヘッドセットから再生されます。メッセージは、レーンに車両がないときだけに確認できます。



既存のメッセージを聞くには、**REVIEW/RECORD MESSAGE (メッセージの確認/録音)** 画面で、**Review (確認)** ボタンを押します。メッセージはすべてのヘッドセットから再生され、画面に「**REVIEWING MESSAGE... (メッセージの確認中)**」というメッセージが表示されます。



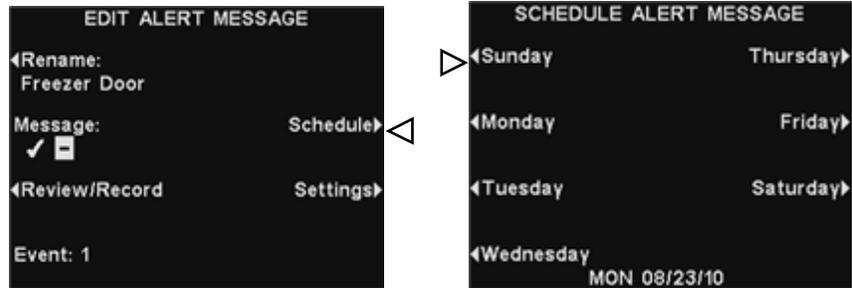
新しいメッセージを録音するには、**REVIEW/RECORD MESSAGE (メッセージの確認/録音)** 画面で **Record (録音)** ボタンを押します。



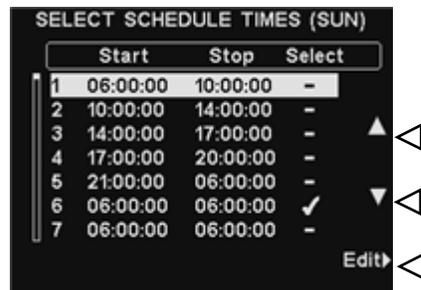
画面の**READY TO RECORD (録音の準備)** の指示に従います。**B** ボタンを離した後、最高 10 秒間のメッセージが録音できます。**Progress (プログレス)** インジケーターが録音の残り時間を示します。

メッセージのスケジュール

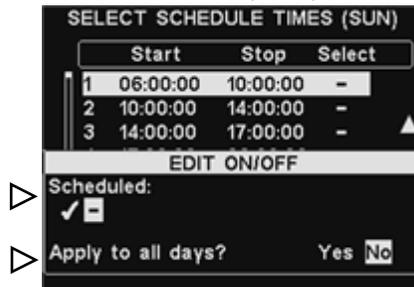
選択したメッセージのスケジュールを選択するには、**EDIT ALERT MESSAGE (警告メッセージの編集)** 画面で **Schedule (スケジュール)** ボタンを押します。



SCHEDULE ALERT MESSAGE (警告メッセージのスケジュール) 画面で、選択したメッセージの再生日のボタンを押します。



SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面で、▲ (アップ) と ▼ (ダウン) のボタンを押して 12 の使用可能な時間帯をスクロールし、選択したメッセージを再生する時間帯を選択します。希望する時間帯をハイライトしたら、**Edit (編集)** ボタンを押します。



EDIT ON/OFF (編集オン/オフ) 画面で **Scheduled (スケジュール済み)** ボタンを押して、選択した時間帯に対してメッセージをオンまたはオフにします。毎日この時間帯にメッセージをオンまたはオフにする場合は、**Apply to all days (全日に適用)** ボタンを押して **Yes (はい)** を選択します。**No (いいえ)** を選択すると、この変更は選択された日だけに適用されます。

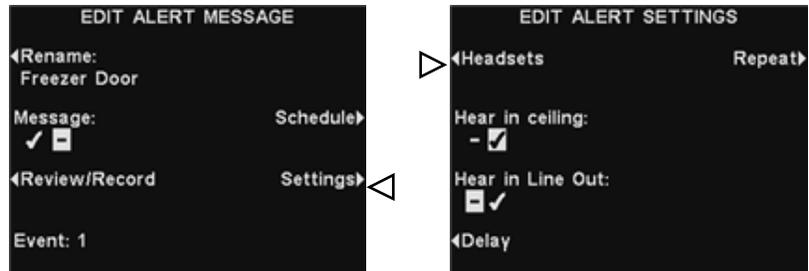
これらの設定を保存するには、**Back (戻る)** ボタンを押します。

注：

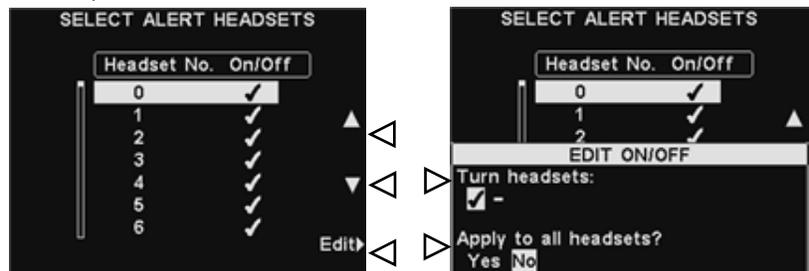
SELECT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の選択) 画面にリストされている時間帯の開始と停止時刻を編集するには、**MESSAGE CENTER MENU (メッセージセンターメニュー)** に移動し、**Edit schedule times (スケジュール時間の編集)** を選択します。

メッセージ再生の設定

選択した警告メッセージの再生場所を選択するには、**EDIT ALERT MESSAGE** (警告メッセージの編集) 画面で **Settings** (設定) ボタンを押します。



選択した警告メッセージを再生する特定のヘッドセットを指定するには、**EDIT ALERT SETTING** (警告設定の編集) 画面で **Headsets** (ヘッドセット) ボタンを押します。

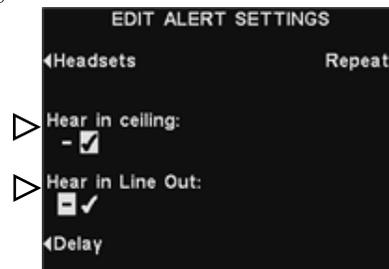


注：

初期設定により、メッセージはすべてのヘッドセットで再生されます。

SELECT ALERT HEADSETS (警告ヘッドセットの選択) 画面で ▲ (アップ) と ▼ (ダウン) ボタンを押して、選択した警告メッセージを ✓ (オン) または - (オフ) にするヘッドセットの番号を選択し、**Edit** (編集) ボタンを押します。

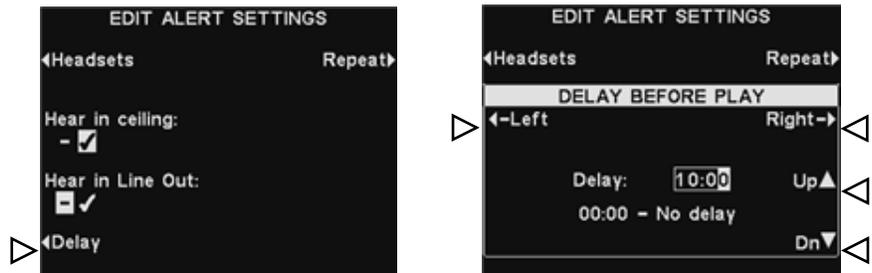
選択したヘッドセットで、メッセージを ✓ (オン) または - (オフ) にするには、**EDIT ON/OFF** (編集 オン/オフ) 画面で **Turn Headsets** (ヘッドセットでの使用) ボタンを押し、✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。全てのヘッドセットからのメッセージをオンまたはオフにするには、**Apply to all headsets?** (全ヘッドセットに適用しますか?) ボタンを押し、**Yes** (はい) または **No** (いいえ) をハイライトした後、**Back** (戻る) ボタンを押します。



選択した警告メッセージを天井スピーカーから流す、または流さないようにするには、**Hear in ceiling** (天井から流す) ボタンを押して ✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。

選択した警告メッセージをライン出力から再生する、または再生しないようにするには、**Hear in Line Out** (ライン出力から流す) ボタンを押して ✓ (オン) または - (オフ) をハイライトします。

警告メッセージがトリガーされてから再生が開始されるまでの遅延時間を設定するには、**Delay (遅延)** ボタンを押します。



DELAY BEFORE PLAY (再生前の遅延) 画面で、**Left (左)** または **Right (右)** ボタンを使って **Delay (遅延)** フィールドのハイライトを左右に移動し、分と秒 (MM:LL) を変更します。

Up (アップ) と **Dn (ダウン)** のボタンを使って、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。

これらの設定を保存するには、**Back (戻る)** ボタンを押します。

警告メッセージを選択した間隔で繰り返すには、**Repeat (繰り返し)** ボタンを押します。



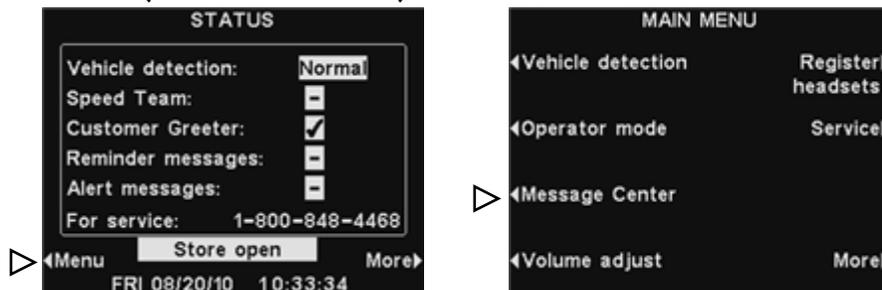
REPEAT INTERVAL (繰り返しの間隔) 画面で、**Left (左)** または **Right (右)** ボタンを使って **Time (時刻)** フィールドのハイライトを左右に移動し、分と秒 (MM:LL) を変更します。

Up (アップ) と **Dn (ダウン)** のボタンを使って、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。

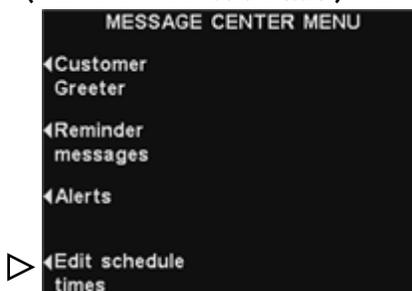
これらの設定を保存するには、**Back (戻る)** ボタンを押します。

スケジュール時間

メッセージセンターの全メッセージをスケジュールできる各日の時間帯をすべて設定するには、**STATUS (状態)** 画面で **Menu (メニュー)** ボタンを押し、その後、**MAIN MENU (メインメニュー)** で **Message Center (メッセージセンター)** ボタンを押します。

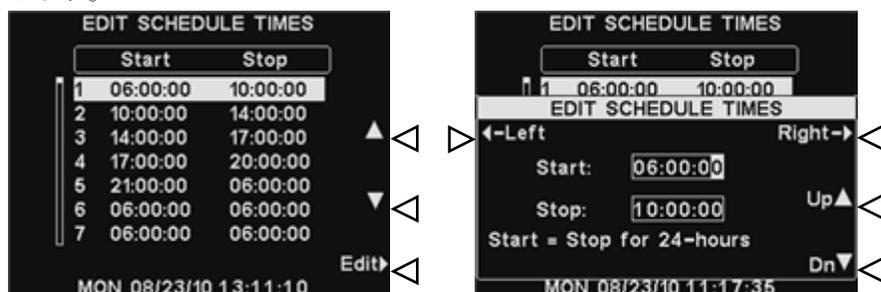


MESSAGE CENTER MENU (メッセージセンターメニュー) で **Edit schedule times (スケジュール時間の編集)** ボタンを押します。



12 の使用可能な時間帯があります。編集する時間帯を選択するには、▲ (アップ) と ▼ (ダウン) のボタンを押し、**EDIT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の編集)** 画面で 12 の使用可能な時間帯をスクロールします。希望する時間帯をハイライトしたら、**Edit (編集)** ボタンを押します。

EDIT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の編集) 画面のドロップダウンリストで、開始と停止時刻を編集するには、**Left (左)** と **Right (右)** ボタンを使って **Start (開始)** または **Stop (停止)** フィールドのハイライト表示を移動させ、**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。1 つのフィールドから他のフィールドに移動するには、ハイライト表示が 1 つのフィールドから他のフィールドに移動するまで、**Left (左)** または **Right (右)** ボタンを繰り返し押します。



これらの設定を保存するには、**Back (戻る)** ボタンを押します。

注：

すべての時刻は 24 時間形式です。

例：0500 = 午前 5 時

1700 = 午後 5 時

0000 = 午前零時

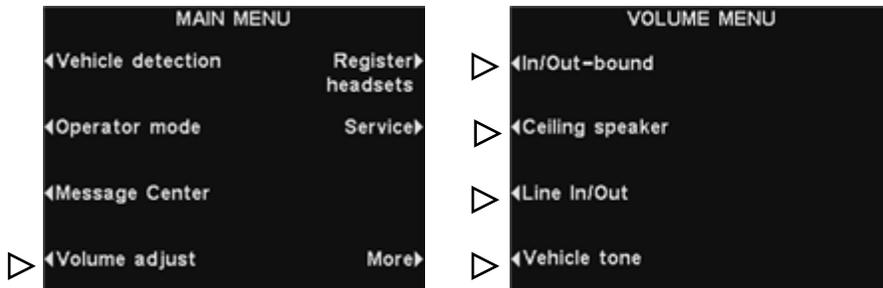
音量調整

送信と着信の音声、警告音、メッセージの繰り返しメッセージの音量を調整するには、ベースステーションの **STATUS (状態)** 画面で **Menu (メニュー)** を選択した後、**MAIN MENU (メインメニュー)** で **Volume adjust (音量調整)** を選択します。

VOLUME MENU (音量メニュー) 左側のボタンを押して、調整したい音量を選択します。

注：

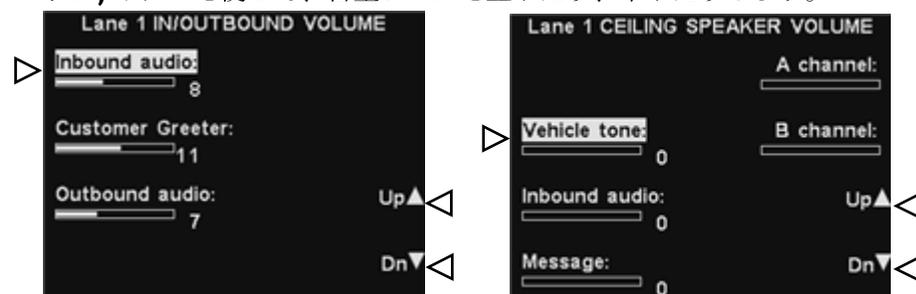
デュアルレーン操作の場合は、**VOLUME MENU (音量メニュー)** に示されるように、**VOLUME MENU (音量メニュー)** には **Lane 1 (レーン 1)** と **Lane 2 (レーン 2)** について同じ選択肢があります。それぞれに応じて選択を行います。



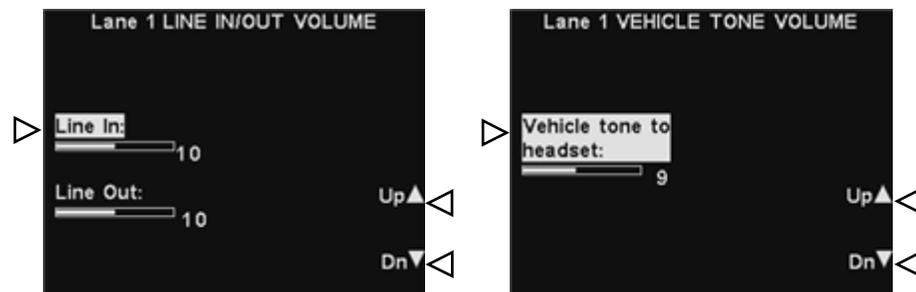
次に表示される画面で、調整したい音量を選択し、**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを使って、音量レベルを上げたり、下げたりします。

注：

IN/OUTBOUND VOLUME (着信/送信の音量) 設定で、屋外スピーカーやマイクと、メッセージセンターからの送信メッセージの音量レベルを調整します。



VEHICLE TONE VOLUME (車両音の音量) 設定では、ヘッドセットから聞こえる警告音の音量レベルだけを調整できます。



これらの設定を保存するには、**Back (戻る)** ボタンを押します。

有線バックアップシステムの操作

有線バックアップシステムを使用するには、ベースステーションにスイッチャー基板 (オプション) が必要です。スイッチャー基板がある場合、図 10 に示されるように、ベースステーション下部にスイッチがあります。シングルレーン ドライブスルー操作の場合、スイッチは **Lane 1 (レーン 1)** です。

デュアルレーン ドライブスルー操作の場合、ベースステーションには 2 つのスイッチ基板があることがあります。デュアルレーン ドライブスルー操作の場合、ベースステーションには 2 つのスイッチ基板があることがあります。その場合、それらのスイッチはベースステーション下部にあり、1 つは **Lane 1 (レーン 1)** 用で、もう 1 つは **Lane 2 (レーン 2)** 用になります。

- 有線バックアップシステムを使用するには、**Lane 1 (レーン 1)** および /または **Lane 2 (レーン 2)** のスイッチを **Backup (バックアップ)** (入力) の位置にします。
- 有線バックアップシステムを使い終わったら、**Wireless (ワイヤレス)** (出力) の位置にスイッチを戻します。

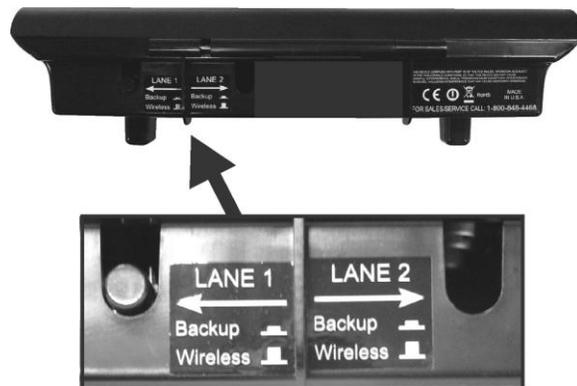


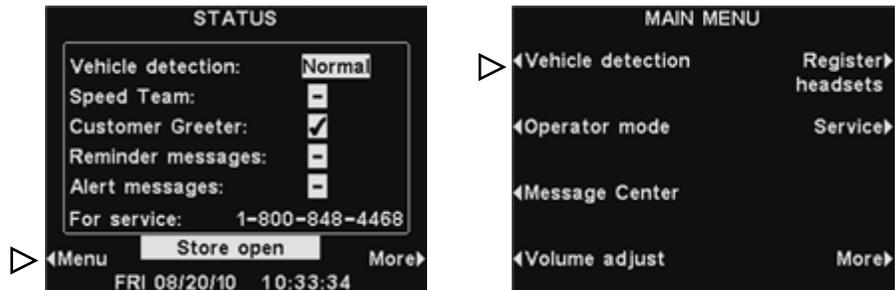
図 10. ベースステーション下部の有線バックアップ用スイ

車両検出

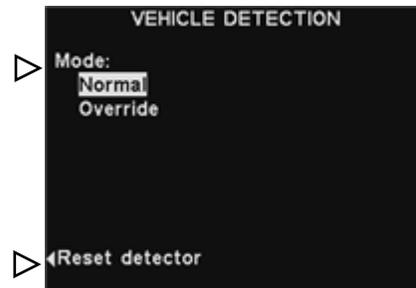
スピーカーポストまたはメニューボードへの車両進入をシミュレートして車両検出器の機能をテストすることができます。

これを行う前に、まず車両（または金属物）が検出地点にないことを必ず確認してください。

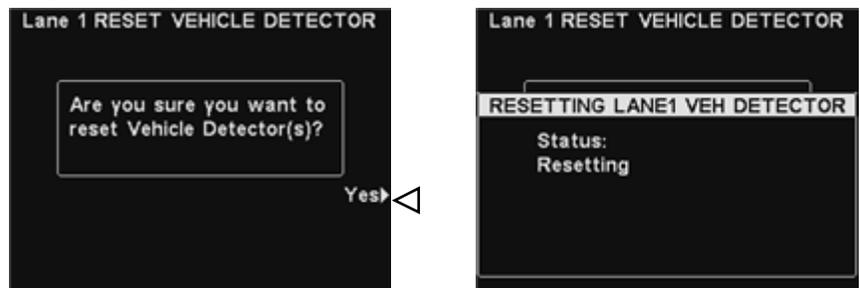
ベースステーションの **STATUS (状態)** 画面で **Menu (メニュー)** ボタンを押した後、**MAIN MENU (メインメニュー)** 画面の **Vehicle detection (車両検出)** ボタンを押します。



VEHICLE DETECTION (車両検出) 画面で、**Mode (モード)** ボタンを押し、**Override (オーバーライド)** を選択します。これにより、車両警告音がヘッドセットに流れ、屋外スピーカーからの音声が流れます。通常の操作に戻るには、もう一度 **Mode (モード)** ボタンを押し、**Normal (通常)** を選択します。



ベースステーションに車両検出器基板 (VDB) があり、車両が到着したにもかかわらず屋外スピーカーからの音声が流れない、または警告音が鳴らないなど車両の検出に問題が生じた場合は、車両検出器をリセットするために **VEHICLE DETECTION (車両検出)** 画面で **Reset detector (検出器のリセット)** ボタンを押し、その後、**Yes (はい)** ボタンを押します。



画面に「**Reset Completed (リセットが完了しました)**」というメッセージが表示され消えた後、**Back (戻る)** ボタンを押して終了します。

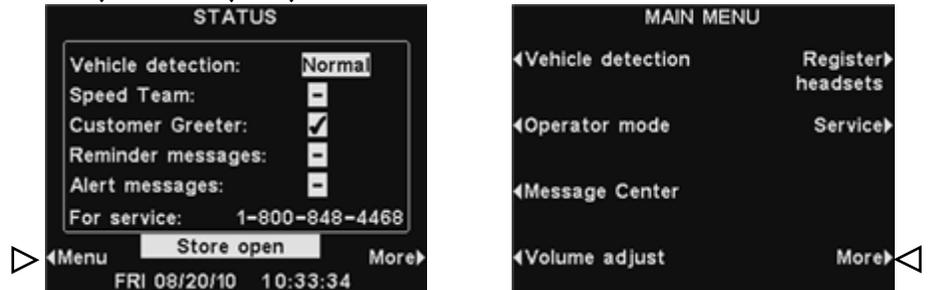
店舗の設定

店舗の設定は、ドライブスルー操作に非常に重要な設定です。通常パスワードアクセスによって制御します。

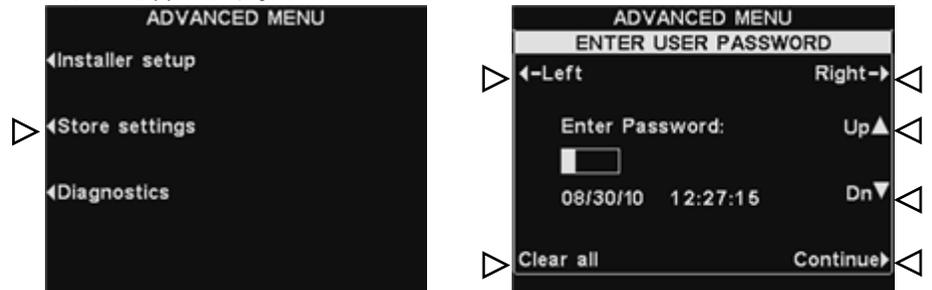
店舗の設定にアクセスするには、ベースステーションの **STATUS (状態)** 画面で **Menu (メニュー)** ボタンを押した後、**MAIN MENU (メインメニュー)** で **More (詳細)** ボタンを押します。

注：

店舗の設定は通常、店舗のマネージャーなど権限を持つ個人によってのみ作成、変更されます。店舗の設定を変更するにはパスワードが必要です。



ADVANCED MENU (詳細メニュー) で **Store settings (店舗の設定)** ボタンを押します。



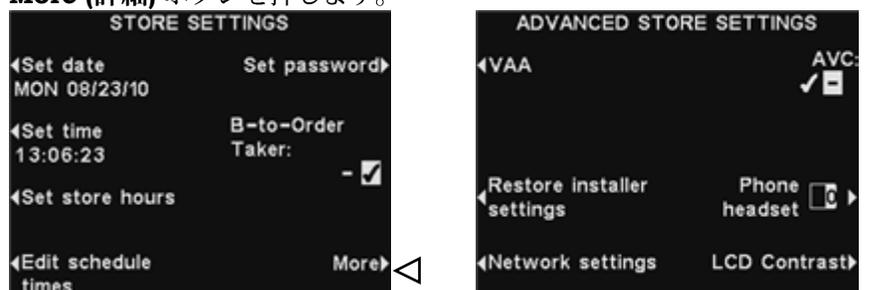
ユーザーパスワード

注：

初めてパスワードを設定するには、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面の **Set Password (パスワードの設定)** ボタンを押し、「[パスワードの変更](#)」の指示に従います。

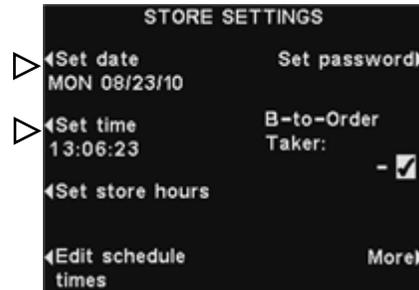
店舗の設定を変更するには、パスワードが必要な場合があります。パスワードが必要とされる場合は、**ENTER USER PASSWORD (ユーザーパスワードの入力)** 画面が表示されます。必要とされない場合は、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面が即時表示されます。

パスワードがある場合、**Left (左)** と **Right (右)** のボタンを押して **Enter (入力)** フィールドのハイライト表示のボックスを移動し、**Up (アップ)** ボタンを押して英字をボックスに入力するか、**Dn (ダウン)** ボタンを押して数字をボックスに入力します。パスワードの文字を入力する毎に、**Right (右)** ボタンを押して、ハイライト表示されているボックスを次の位置に移動し、次の文字を入力します。新しいパスワードで入力を最初からやり直す場合は、**Clear All (すべてを消去)** ボタンを押します。パスワード全体を入力した後、**Continue (継続する)** ボタンを押し、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面を表示します。追加の **ADVANCED STORE SETTINGS (店舗の詳細設定)** を表示するには、**More (詳細)** ボタンを押します。



日付と時刻の設定

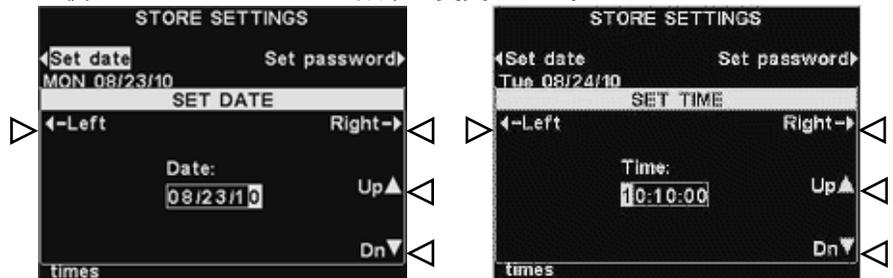
日付と時刻の設定を変更するには、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面で **Set date (日付の設定)** または **Set time (時刻の設定)** ボタンを押します。



SET DATE (日付の設定) または **SET TIME (時刻の設定)** 画面で、**Left (左)** と **Right (右)** ボタンを使って **Date (日付)** または **Time (時刻)** フィールドのハイライトを移動させ、**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。

ヒント!

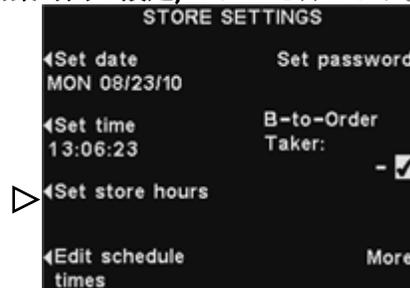
時刻の設定を行なう場合は、正確な時刻より少し前の時刻から設定し始め、正確な時間に設定が一致する 1 秒前に **Back (戻る)** ボタンを押して、時計を再起動します。



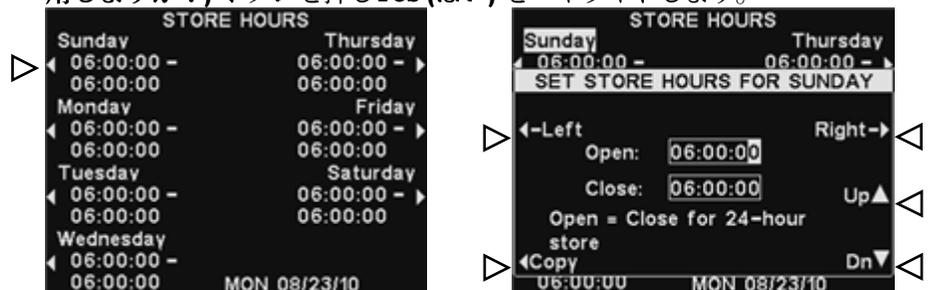
これらの設定を保存するには、**Back (戻る)** ボタンを押します。

営業時間の設定

営業時間を変更するには、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面で **Set store hours (営業時間の設定)** ボタンを押します。



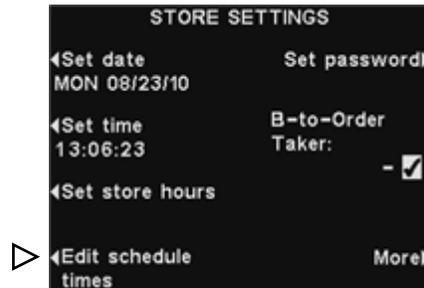
変更したい日の横のボタンを押します。**Left (左)** と **Right (右)** ボタンを使って **Open (開店)** または **Close (閉店)** フィールドのハイライトを移動した後、**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを使ってハイライト表示の数字を変更します。1つのフィールドから他のフィールドに移動するには、**Left (左)** または **Right (右)** ボタンを使って、ハイライトが1つのフィールドから他のフィールドに移動するまでボタンを繰り返し押します。営業時間をすべての日に適用する場合は、**Copy (コピー)** ボタンを押した後、**Apply to all days? (全日に適用しますか?)** ボタンを押して **Yes (はい)** をハイライトします。



これらの設定を保存するには、**Back (戻る)** ボタンを押します。

スケジュール時間の編集

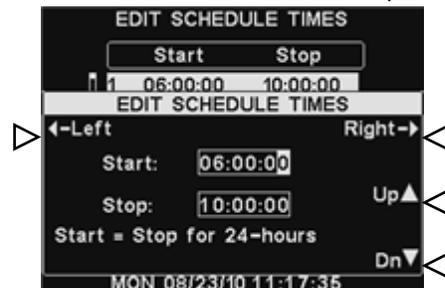
最大 12 までのスケジュール時間を設定して、メッセージセンターからメッセージを再生する時間帯を確立できます。スケジュール時間は必要に応じて編集可能です。スケジュール時間を変更するには **STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面で **Edit schedule times (スケジュール時間の設定)** ボタンを押します。



EDIT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の編集) 画面で ▲ (アップ) と ▼ (ダウン) ボタンを押して、時間帯リスト内を上下に移動します。7 以降も 12 にまで、▼ (ダウン) ボタンを押し続けることができます。



変更したい時間帯がハイライトされたら、**Edit (編集)** ボタンを押します。



Left (左) と **Right (右)** ボタンを使って **Start (開始)** または **Stop (停止)** フィールドのハイライトを移動した後、**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** のボタンを使ってハイライトされた数字を変更します。1 つのフィールドから他のフィールドに移動するには、ハイライト表示が 1 つのフィールドから他のフィールドに移動するまで、**Left (左)** または **Right (右)** ボタンを繰り返し押します。

これらの設定を保存するには、**Back (戻る)** ボタンを押します。

注：

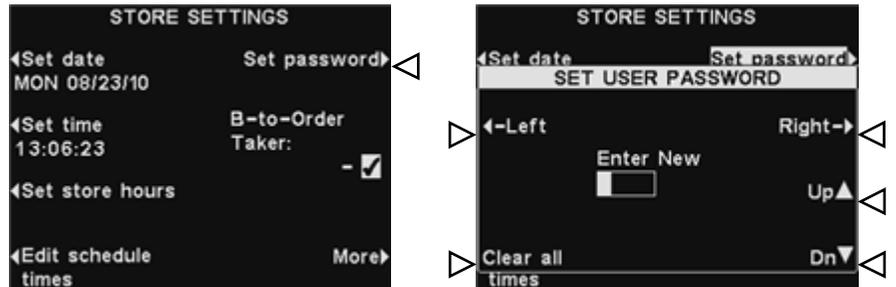
EDIT SCHEDULE TIMES (スケジュール時間の編集) 画面には、**MESSAGE CENTER (メッセージセンター)** からアクセスできます。

注：

店舗が営業中で、スケジュールを 24 時間実行させたい場合は、**Stop (停止)** と **Start (開始)** 時間を同じにします。

パスワードの変更

セキュリティのため、または従業員の雇用が終了した際は、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面で入力するパスワードを定期的に変更する必要があります。これを行なうには、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面で **Set password (パスワード設定)** ボタンを押します。現行のパスワードは、**SET USER PASSWORD (ユーザーパスワードの設定)** 画面の **Enter New (新規入力)** フィールドに表示されます。

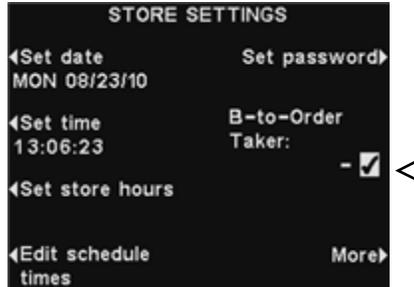


Left (左) と **Right (右)** ボタンを使って、**Enter New (新規入力)** フィールドのハイライト表示のボックスを移動します。ハイライト表示のボックスに **Up (アップ)** ボタンを使って英字を入力し、**Dn (ダウン)** ボタンを使って数字を入力します。A より前の文字は数字になります。9 より後の文字は英字になります。**Right (右)** ボタンを押して、ハイライト表示のボックスを次の位置に移動し、次の文字を入力します。新しいパスワードを最初から入力し直す場合は、**Clear All (すべてを消去)** ボタンを押します。新しいパスワードを入力した後、**Back (戻る)** ボタンを2回押して新しいパスワードを保存し、**ADVANCED MENU (詳細メニュー)** に戻ります。

B-to-Order Taker (ビーツーオーダーテイカー)

B-to-Order Taker (ビーツーオーダーテイカー) 機能により、オーダー受付係は **A** ボタンでお客様と交信中に、**B** ボタンの交信を聞く (または聞かない) ようにすることができます。

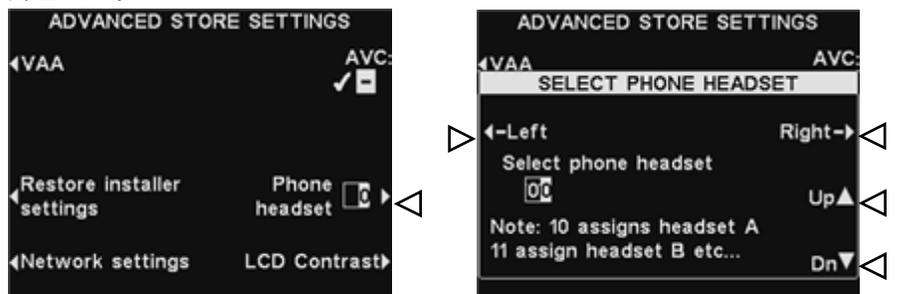
STORE SETTINGS (店舗の設定) 画面で **B-to-Order Taker** ボタンを押して (オン) を選択すると、オーダー受付係は **A** ボタンが押されている間も **B** ボタン交信を聞くことができます。- (オフ) を選択すると、オーダー受付係は **A** ボタンが押されている間は **B** ボタン交信を聞くことはできません。



この設定を保存するには、**Back** (戻る) ボタンを押します。

電話用ヘッドセット

HME 電話のインターフェイスがベースステーションに接続されている場合、ベルトパック/ヘッドセットを割り当てて、着信電話を受けることができます。これを行なうには、**ADVANCED STORE SETTINGS** (店舗の設定) 画面で **Phone Headset** (電話用ヘッドセット) ボタンを押します。**SELECT PHONE HEADSET**(電話用ヘッドセットの選択) 画面で、**Left** (左) と **Right** (右) ボタンを使って **Select phone headset** (電話用ヘッドセットの選択) フィールドのハイライト表示を移動し、**Up** (アップ) と **Dn** (ダウン) ボタンを押してベルトパック/ヘッドセットの数を入力します。

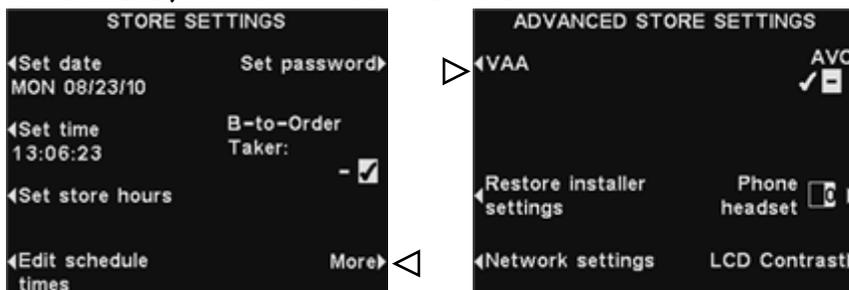


これらの設定を保存するには、**Back** (戻る) ボタンを押します。

VAA 調整

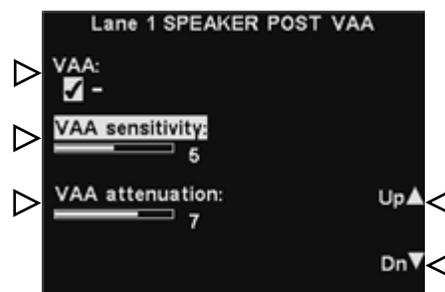
VAA 設定を調整して、エコーやハウリング、変動する着信音声レベルを取り除くことができます。

VAA レベルを調整するには、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面で **More (詳細)** ボタンを押します。**ADVANCED STORE SETTINGS (店舗の詳細設定)** 画面で **VAA** ボタンを押します。



注：

デュアルレーンドライ
ブスルー操作の場合、
この調整を各レーンに
行なわなければならない
場合があります。



VAA オンまたはオフ：

VAA 機能を (オン) または - (オフ) にするには、**VAA** ボタンを押し、**Yes (はい)** または **No (いいえ)** をハイライトします。

VAA 感度レベル：

これは、VAAの回路をアクティブにするために必要なオーダー受付係の声の音量レベルです。お客様に話しかけても着信レベルが自動的に下がらない場合は、**VAA sensitivity (VAA 感度)** ボタンを押し、お客様との会話中に着信音声の音量が下がり、お客様との会話を止めると通常のレベルに戻るようになるまで、**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを押します。

VAA 減衰レベル：

これは、オーダー受付係がお客様と会話する際に、着信音量レベルが下がる量を示します。オーダー受付係が話す際に着信音声を全く聞くことができない場合は、**VAA attenuation (VAA 減衰)** をより低いレベルに調整します。この調整を行なうには、**VAA attenuation (VAA 減衰)** ボタンを押し、希望するレベルに達するまで **Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** ボタンを押します。減衰しない場合は、この設定を調整せずに **VAA** をオフにしてください。

インストーラ設定の復元

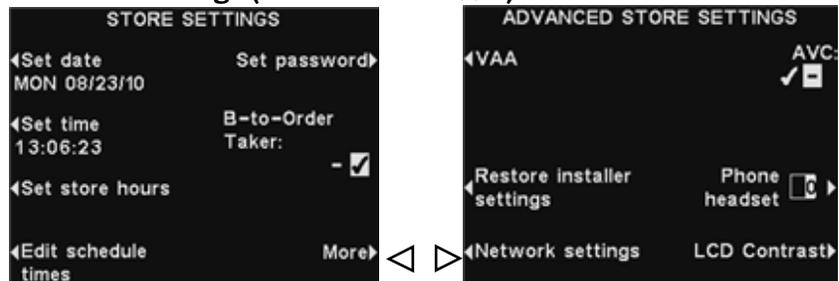
すべてのカスタム設定を削除し、ion|IQ™ インストーラの初期設定に戻すには、**ADVANCED STORE SETTINGS (店舗の詳細設定)** 画面で **Restore installer settings (インストーラ設定の復元)** ボタンを押した後、**RESTORE INSTALLER DEFAULTS (インストーラ初期値の復元)** 画面で **Restore (復元)** ボタンを押します。ベースが自動的にリセットされ、インストーラの設定が復元されます。



ネットワークの設定

ベースステーションがコンピュータネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定は、ion|IQ™ インストーラによって設定されています。

ネットワーク接続に関する問題で HME テクニカルサポートに連絡を取ると、ネットワーク設定の変更を指示される場合があります。その場合は、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面で **More (詳細)** ボタンを押します。**ADVANCED STORE SETTINGS (店舗の詳細設定)** 画面で、**Network settings (ネットワークの設定)** ボタンを押します。

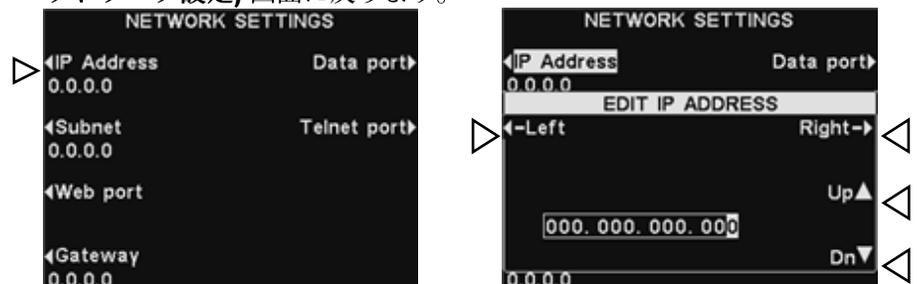


注：

EDIT IP ADDRESS (IP アドレスの編集) 画面は、例として示されています。ただし、ネットワークの各設定を編集する方法は同じです。

NETWORK SETTINGS (ネットワーク設定) 画面で、HME テクニカルサポートの担当者の指示に従って選択を行い、変更を行いません。

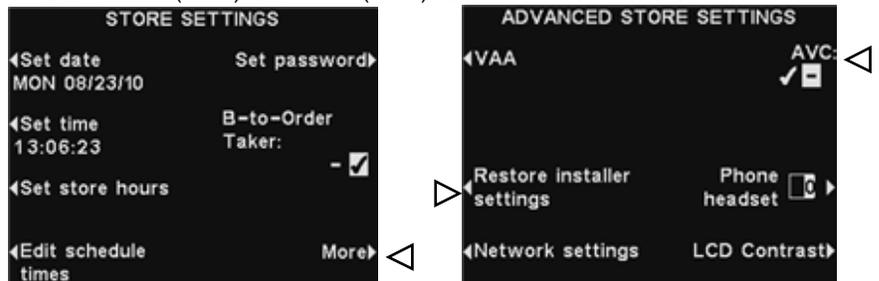
たとえば、IP アドレスの変更を指示されることがあります。**EDIT IP ADDRESS (IP アドレスの編集)** 画面で **Left (左)** と **Right (右)** のボタンを使って **Address (アドレス)** フィールドのハイライト表示のボックスを左右に移動します。**Up (アップ)** と **Dn (ダウン)** のボタンを使って、ハイライト表示のボックスの数字を変更します。新しいアドレスを入力した後、**Back (戻る)** ボタンを押して入力を保存し、**NETWORK SETTINGS (ネットワーク設定)** 画面に戻ります。



自動音量コントロール

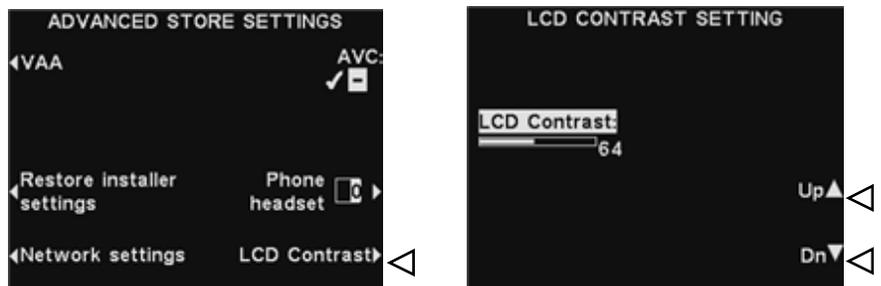
自動音量コントロール (AVC) がオンになっていると、スピーカーポスト環境の騒音に合わせて屋外スピーカーの音量レベルが自動調整されます。過度の騒音がある場合、スピーカーから流れるオーダー受付系の音声レベルが上がります。ドライブスルーの周辺が静かになると、音声レベルが下がるように調整されます。

自動音量コントロールをオンまたはオフにするには、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面で **More (詳細 ボタン)** を押した後、**ADVANCED STORE SETTINGS (店舗の詳細設定)** 画面で **AVC** ボタンを押し、**✓ (オン)** または **- (オフ)** をハイライトします。



LCD コントラスト

ベースステーション画面の明/暗のコントラストを調整するには、**STORE SETTINGS (店舗の設定)** 画面で **More (詳細)** ボタンを押します。**ADVANCED STORE SETTINGS (店舗の詳細設定)** 画面で **LCD Contrast (LCD コントラスト)** ボタンを押した後、**Up (アップ)** (より明るい) と **Dn (ダウン)** (より暗い) のボタンを押してコントラストを調整します。完了したら、**Back (戻る)** ボタンを押して、設定を保存し、希望する画面に戻ります。



注：

LCD コントラストは工場
場で設定されており、
通常調整する必要はあ
りません。

PC ナビゲーション

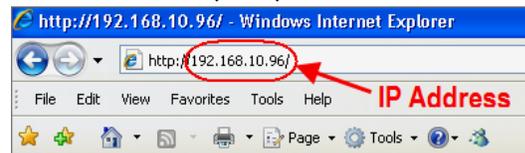
ion|IQ™ を PC ネットワークで動作するように設定した場合は、ベースステーションから行った設定をご使用の PC でも同じように設定することができます。

以下の例では、PC 画面でのシステム設定方法を説明します。

ion|IQ™ は、ベースステーションの構成設定を表示し、編集することができます。ion|IQ™ を PC で開くには、以下の例に示されるように、インターネット ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、キーボードの **Enter (入力)** キーを押します。

注：

IP アドレスを調べるには、ベースステーションの **STATUS (状況)** 画面から **More (詳細)** 画面にアクセスします。



Main Menu (メインメニュー) から表示または編集するカテゴリを選択します。いくつかのトピックには、サブトピックが選べる **Secondary Menu (セカンダリメニュー)** バーがあります。

Status	Message Center			Edit buttons
	Schedule	Customer Greeter	Reminders	
Vehicle detection	Times:	Start	Stop	
Operator mode	1	06:00:00	10:00:00	Edit
Message Center	2	10:00:00	14:00:00	Edit
Volume adjust	3	14:00:00	17:00:00	Edit
Register headsets	4	17:00:00	20:00:00	Edit
Service	5	21:00:00	06:00:00	Edit
Installer Settings	6	06:00:00	06:00:00	Edit
Store settings	7	06:00:00	06:00:00	Edit
Diagnostics	8	06:00:00	06:00:00	Edit
Reports	9	06:00:00	06:00:00	Edit
	10	06:00:00	06:00:00	Edit
	11	06:00:00	06:00:00	Edit
	12	06:00:00	06:00:00	Edit

Edit (編集) ボタンにカーソルを合わせてクリックすると、設定の選択肢が付いた編集バーが表示されます。設定を変更した場合は、**Save (保存)** ボタンを押して変更を保存します。変更を保存しない、または変更を行わない場合は、他のメニュートピックの上にカーソルを合わせてクリックするか、ブラウザ画面の左上の back (戻る) 矢印をクリックします。

Status	Message Center			Edit buttons
	Schedule	Customer Greeter	Reminders	
Vehicle detection	Times:	Start	Stop	
Operator mode	1	06 : 00 : 00	10 : 00 : 00	Save
Message Center	2	10:00:00	14:00:00	Edit
Volume adjust	3	14:00:00	17:00:00	Edit
Register headsets	4	17:00:00	20:00:00	Edit
Service	5	21:00:00	06:00:00	Edit
Installer Settings	6	06:00:00	06:00:00	Edit
Store settings	7	06:00:00	06:00:00	Edit
Diagnostics	8	06:00:00	06:00:00	Edit
Reports	9	06:00:00	06:00:00	Edit
	10	06:00:00	06:00:00	Edit
	11	06:00:00	06:00:00	Edit
	12	06:00:00	06:00:00	Edit

PC レポート

ion|IQ™ は、PC に以下のようなレポートを生成することもできます。

Headset Statistics Report (ヘッドセット統計レポート) には、以下の情報が記載された全ヘッドセットのリストが含まれます。

- ヘッドセットが使用された最後の時刻/日付
- 各ヘッドセットに割り当てられているメッセージ
- 「電話用」ヘッドセットとして割り当てられているヘッドセット

Message Center Report (メッセージセンター レポート) には、✓ (オン) になっている各メッセージに関連する全設定のリストが含まれます。

レポートを表示するには、**Main Menu (メインメニュー)** から **Reports (レポート)** を選択します。

装置の手入れ

適切な装置の扱い方

- ヘッドセットのマイクの位置を調整するには、マイクの先端ではなくマイクベースのブームを持って行います。
- ヘッドセットは、イヤホンではなくヘッドバンドを握って持ち運び、絶対にマイクブームを握って持ち運ばないでください。
- ヘッドセットの装着・取り外しは両手で行ないます。

装置のクリーニング

COM6000BP

- バッテリーを外します。
- 家庭用洗剤をスプレーして湿らせたスポンジで、バッテリーとヘッドセットをきれいにします。スポンジを使用する前に、スポンジから余分な液体を絞り出します。
- 以下のように、バッテリーとヘッドセットの金属製のバッテリー接点をきれいにします。綿棒の先端をアルコールで湿らせ、余分なアルコールを絞り出します。綿棒で各接点を拭き、乾いたことを確認してから、バッテリーを再び取り付けます。
- 衛生目的のため、ヘッドセットのイヤホンのスポンジ耳あては簡単に交換できます。追加のスポンジ耳あての注文は、各地域の HME セールス担当者までご連絡ください。

注意：

手入れをする前に、必ずバッテリー充電器の電源を外してください。

バッテリー充電器

バッテリー充電器には、水または油がかからないようにしてください。以下の指示に従って、毎月バッテリー充電器の手入れを行ないます。

- バッテリー充電器からバッテリーをすべて取り外します。
- 湿ったスポンジでバッテリー充電器のケースをきれいにします。スポンジを湿らせて一度絞り、スポンジがずぶ濡れ状態にならないようにします。（装置に直接ではなく）スポンジに家庭用洗剤をスプレーします。スポンジでバッテリー充電器をきれいにし、完全に乾かします。綿棒の先端を消毒用アルコールで湿らせ、綿棒から余分なアルコールを絞り出します。各バッテリーポート内の金属接点を湿った綿棒で拭きます。接点が乾いてから、バッテリーをポートに入れます。

問題が発生した場合

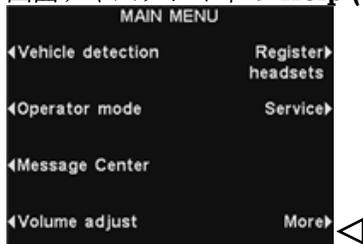
トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決方法
PWR (電源) ボタンを押すと、ヘッドセットから「Battery failed (バッテリー故障)」というメッセージが聞こえる。	バッテリーに欠陥がある可能性があります。	バッテリーを交換します。HME までお問合せください。*
	ヘッドセットバッテリーの接点が汚れている可能性があります。	アルコールでヘッドセットバッテリーの接点をきれいにします。
PWR (電源) ボタンを押すと、「Headset failed (ヘッドセット故障)」というメッセージが聞こえる。	ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
	ヘッドセットバッテリーの接点が汚れている可能性があります。	アルコールでヘッドセットバッテリーの接点をきれいにします。
ヘッドセットのマイクに向かって話す時、ヘッドセットのイヤホンから自分の音声の音が聞こえる。	屋外スピーカーとマイクが適切に設置されていない可能性があります。	スピーカーとマイクがお互いから引き離され、振動を吸収するために周囲に十分なスポンジを詰めてしっかりと取り付けられていることを確認してください。
	音声の送信および/または受信レベルの設定が高すぎる可能性があります。	送信音声レベルをお客様に聞こえる最低限の大きさに設定します。着信音声を快適なレベルに下げます。
	VAA レベルの調整が必要な場合があります。	VAA レベルを調整して、ヘッドセットのマイクに向かって話す時の着信音声レベルを下げます。 VAA 減衰レベルを調整して、ヘッドセットのマイクに向かって話す時の着信音声レベルを下げます。 注: 着信レベルが低すぎると、お客様の声が聞こえなくなります。
ボタン A を押してマイクに向かって話しても、ヘッドセットから音声は聞こえない。	ベースステーションの電源がオフになっている可能性があります。	ベースステーションの HME のロゴと他のランプが点灯していることを確認します。 建物のプレーカーをチェックします。
	ベースステーションの電源が作動していない可能性があります。	電源アダプタが電源コンセントに差し込まれ、ベースステーションのオーディオ回路基板の J3 に接続されていることを確認します。
	ヘッドセットの電源がオンになっていない可能性があります。	ヘッドセットの PWR (電源) ボタンを押します。電源ランプが点灯し、色が赤から緑に変わることを確認します。
	音量が適切に設定されていない可能性があります。	音量アップとダウンのボタンを使って、音量を調整します。
	バッテリーが低い、欠陥がある可能性があります。	電源ランプをチェックします。点灯していない場合は、バッテリーを交換します。
	ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
	ヘッドセットが登録されていない可能性があります。	ヘッドセットを登録します。
チャンネル A または B が作動していない。	ヘッドセットの電源がオンになっていない可能性があります。	ヘッドセットの PWR (電源) ボタンを押します。電源ランプが点灯し、色が赤から緑に変わることを確認します。
	バッテリーが低い、欠陥がある可能性があります。	電源ランプをチェックします。点灯していない場合は、バッテリーを交換します。
	ヘッドセットの A または B ボタンが押されても、ベースステーションの A1/A2 または B1/B2 ランプが点灯しません。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
	ヘッドセットが登録されていない可能性があります。	ヘッドセットを登録します。
送信音が低すぎる。	送信音量の設定が、環境に対して低すぎる可能性があります。	屋外スピーカーの音量レベルを調整します。
送信音がなく、お客様に何も聞こえない。	システムがスピードチャーム用に設定されている可能性があります。	スピードチャーム設定をチェックします。
	屋外スピーカーまたはベースステーション回路基板のワイヤーが緩んでいる可能性があります。	ベースステーションの車両出現ランプ (車) をチェックします。 ベースステーションの J6 または J14 と屋外スピーカー間の配線接続と、屋外スピーカーをチェックします。
	スピーカーまたはベースステーションが不良品。	HME までお問合せください。*

問題	考えられる原因	解決方法
フッシュアウトワーク (PTT) 操作で、お客様の声が聞こえない。	システムがスピードチーム用に設定されている可能性があります。	スピードチーム設定をチェックします。
	ベースステーションが止しくないドライブスルーモード (全二重式または半二重式) に設定されている可能性があります。	ドライブスルーモードの設定をチェックします。
ヘッドセットから断続的な声だけが聞こえる。	ベースステーショントランシーバー回路基板の送信機用アンテナのコネクタが緩んでいるか、破損している可能性があります。	アンテナがベースステーションにネジでしっかり固定されていることを確認します。トランシーバー回路基板左側の ANT1 と ANT2 で、送信機用アンテナケーブルの接続を確認します。HME までお問合せください。*
	回路基板に欠陥がある可能性があります。	HME までお問合せください。*
	VAA レベルの感度が高すぎます。	VAA レベルを下げます。
大井スピーカまたはヘッドセットからお客様の声は聞こえない。	回路基板に欠陥がある可能性があります。	ボタンを押した時に、ベースステーションの A1/A2 と B1/B2 ランプが点灯するかどうかを確認します。HME までお問合せください。*
	ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
車両がドライブスルーレーンに進んだ時に、天井スピーカまたはヘッドセットから音が聞こえない。	停電が原因で、車両検出器回路が不安定になっている可能性があります。	車両がドライブスルーレーンにいない時に、車両検出器をリセットします。
	システムがスピードチームに設定されている可能性があります。	スピードチーム設定をチェックします。
	コネクタが緩んでいる可能性があります。	ベースステーションのコネクタすべてをチェックします。HME までお問合せください。*
大井スピーカまたはヘッドセットからお客様の声が聞こえない。	ベースステーション回路基板のワイヤーが緩んでいる可能性があります。	ベースステーション回路基板のコネクタへのワイヤー差込みをすべてチェックします。
	システムがスピードチーム用に設定されている可能性があります。	スピードチーム設定をチェックします。
	屋外スピーカ、オーディオ回路基板、または車両検出器基板が故障しました。	HME までお問合せください。*
	VAA 減衰の設定が高すぎます。	減衰を減らします。
ヘッドセットからの音声が断続的になる。	バッテリーの残量が低い可能性があります。	バッテリーを交換します。
	ヘッドセットに欠陥がある可能性があります。	別のヘッドセットを使用します。HME までお問合せください。*
すべてのお客様と会話した後ヘッドセットから音が聞こえる。	ベースステーションがオーバーライドに設定されている可能性があります。	VEHICLE DETECTION (車両検出) メニューで、Mode (モード) 設定が Normal (通常) になっていることを確認します。
	車両検出器が作動していない可能性があります。	VEHICLE DETECTION (車両検出) メニューで、Reset Veh Detect (車両検出器のリセット) を選択します。
バッテリー充電器が作動していない。	充電器が接続されていない可能性があります。	充電器が接続されていることを確認します。接続されているにもかかわらず作動しない場合は、HME までお問合せください。*
「Registration failed (登録に失敗しました)」というメッセージがヘッドセットから聞こえ、ランプは赤色になっている。	ベースステーションの電源がオンになっていません。	ベースステーションの HME のロゴと他のランプが点灯していることを確認します。ランプが点灯していない場合、電源アダプタが電源コンセントに差し込まれ、ベースステーションのオーディオ回路基板の J3 に接続されていることを確認します。
	登録ボタンが押されていません。	登録の手順を繰り返します。HME までお問合せください。*

サービスコール

HME テクニカルサポートへのお問合せについては、**STATUS (状態)** 画面で **Menu (メニュー)** ボタンを押した後、**MAIN MENU (メインメニュー)** 画面の **Service (サービス)** ボタンを押すか、画面ディスプレイ下の **Help (ヘルプ)** ボタンを押します。



ベースステーション内部コントロールとインジケータ

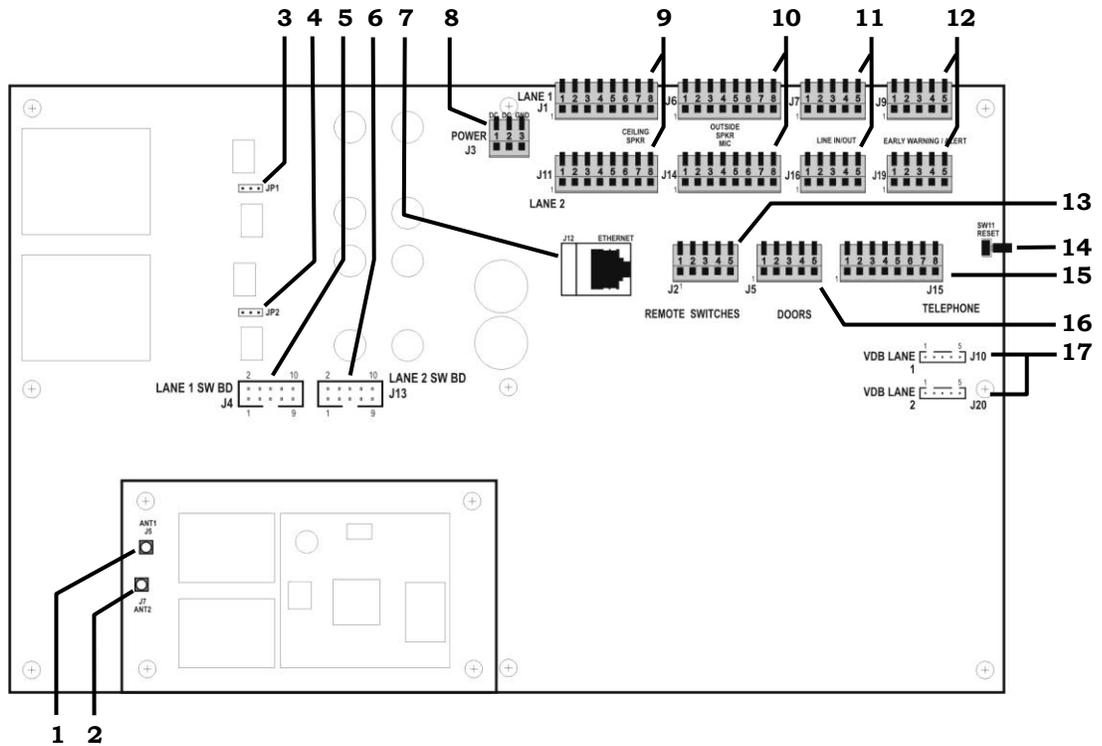
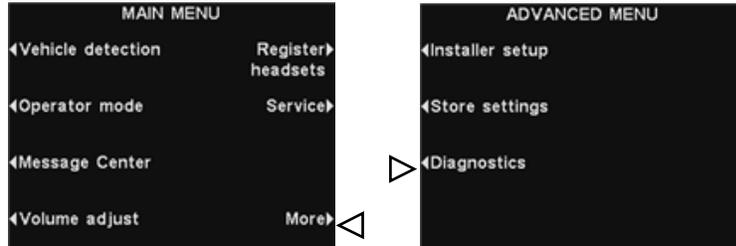


図 11. ベースステーションの内部機能

1. ANT1 アンテナ コネクタ
2. ANT2 アンテナ コネクタ
3. ジャンパー、マイク負荷、JP1-レーン 1
4. ジャンパー、マイク負荷、JP2-レーン 2
5. スイッチャー基板コネクタ、J4-レーン 1
6. スイッチャー基板コネクタ、J13-レーン 2
7. イーサネットコネクタ、J12
8. 電源コネクタ、J3
9. 天井取り付け用コネクタ、J1-レーン 1、J11-レーン 2
10. 屋外スピーカー/マイク用コネクタ、J6-レーン 1、J14-レーン 2
11. ライン入/出力用コネクタ、J7-レーン 1、J16-レーン 2
12. 早期警戒 / 警告用コネクタ、J9-レーン 1、J19-レーン 2
13. リモートスイッチ用コネクタ、J2
14. リセットスイッチ
15. 電話用コネクタ、J15
16. ドアコネクタ、J5
17. 車両検出器基板 (VDB) 用コネクタ、J10-レーン 1、J20-レーン 2

診断

HME テクニカルサポートに問題解決のための連絡を取ると、ベースステーションによる自動診断を行うよう指示される場合があります。店舗の設定にアクセスするには、ベースステーションの **STATUS (状態)** 画面で **Menu (メニュー)** ボタンを押し、その後、**MAIN MENU (メインメニュー)** で **More (詳細)** ボタンを押します。



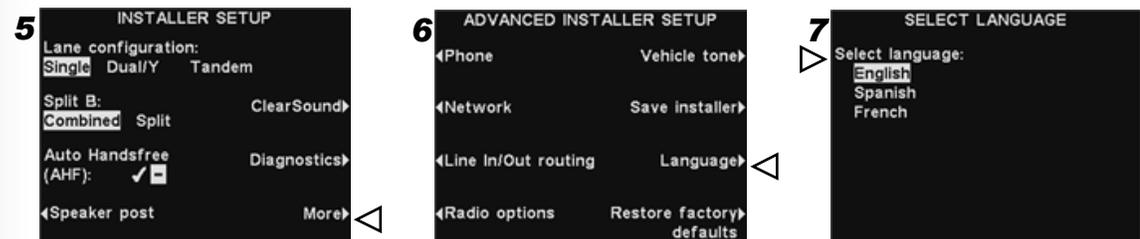
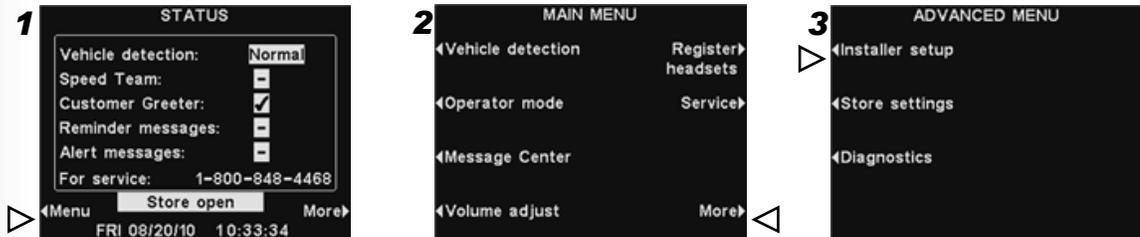
ADVANCED MENU (詳細メニュー) で、**Diagnostics (診断)** ボタンを押してから、テクニカルサポート担当者に要請されたテストを選択します。要請された場合は、**More (詳細)** ボタンを押し、追加の詳細診断を行ないます。



スペイン語またはフランス語操作のためにベースステーションを設定するには

ベースステーションを工場出荷時の設定に戻すと、操作用言語は英語となります。言語をスペイン語またはフランス語に変更するには、ベースステーションの画面で以下の選択を行ないます。

以下の画面 1 から順番に、矢印が示すボタンを押します。



言語を選択した後、**Back (戻る)** ボタンを押して設定を保存します。ベースステーションは自動的に以前の操作モードにリセットされます。

装置仕様

ベースステーション

電圧入力	24VDC \pm 2.5V
AC 入力	最大 2.5A
オーディオ歪率	最大レベル 5%
屋外スピーカー出力	3 W RMS (8 Ω)
天井スピーカー電源	3 W RMS (8 Ω)
TX/RX 周波数	2400MHz~2483.5MHz
寸法	9.75" (高さ) x 13" (幅) x 3.5" (奥行) (248 mm x 330 mm x 89 mm)
重量	最大 3.25 lbs (1.47 kg)

COM6000BP

バッテリータイプ	3.6V リチウムイオン
バッテリー寿命	18~20 時間 (公称)
無線周波数	2400MHz~2483.5MHz
重量	5.1 oz (0.133 kg) - バッテリー含む

Odyssey IQ 一体式ヘッドセット

バッテリータイプ	3.6V リチウムイオン
バッテリー寿命	18~20 時間 (公称)
無線周波数	2400MHz~2483.5MHz
重量	5.7 oz (0.16 kg) - バッテリー含む

AC40 バッテリー充電器

電圧入力	16.5VAC
充電時間	最大 2 時間
サイズ	7.6" x 4.6" x 2.6" (193mm x 117mm x 66mm)
重量	1.5 lb (0.68 kg)

FCC 通告

本装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。使用の際には、本装置は (1) 有害な干渉を発生しない、および (2) 望ましくない操作の原因となる可能性のある干渉を含め、いかなる干渉も受信しなければならない、という 2 つの条件を満たしている必要があります。

注:本装置はFCC 規則パート 15 に定められたクラス A デジタル装置に関する制限項目に基づき所定の試験が実施され、これに適合していることが確認されています。これらの制限項目は、本装置を商業環境で使用した際に、有害な干渉に対する適切な保護を提供するように意図されています。本装置は無線周波数エネルギーを発生、使用し、外部に放射する場合があります。取扱説明書に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉をもたらす原因となる可能性があります。本装置を住宅地で利用すると、有害な干渉を発生する恐れがあり、その場合ユーザーは自らの費用でその干渉を修正する必要があります。

HM Electronics, Inc. によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、本装置を操作するユーザー権限は無効になる場合があります。

ベース送信機に使用するアンテナは、すべての人から少なくとも 20 cm 離して設定し、他のアンテナや送信機と同じ場所に配置したり、一緒に操作しないでください。

本装置は、以下に示すアンテナまたはアンテナキットで動作するように設計されており、最大ゲインは 2dBi です。このリストに載っていない、または 2dBi 以上のゲインがないアンテナ/キットを、本装置で使用することは固く禁じられています。必要とされるアンテナのインピーダンスは 50Ω です。

1. アンテナ : NEARSON, S181TR-2450R, 2dBi
2. アンテナキット : HME, EC20 (P/N G28493-1), 0dBi
3. アンテナキット : HME, EC10 (P/N G27706-1)

認定/登録番号の前の「IC:」という用語は、カナダ産業省の技術仕様に適合していることのみを意味します。

HM Electronics, Inc. は ion|IQTM が R&TTE 指令 1999/5/EC の基本要件とその他の関連規則に準拠していることを宣言します。



この製品は、2400 から 2483.5 MHz の周波数範囲で動作します。この周波数範囲の使用は、現在すべての国で統一されていません。一部の国では、この周波数帯の一部の使用の制限、または電源レベルや使用に関してその他の制限が課されることがあります。可能性のある制限については、Spectrum 代理店までお問合せください。

重要!

Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE)

欧州連合 (EU) WEEE 指令 (2002/96/EC) は、生産者 (メーカー、代理店および/または小売店) に対し、電子製品の耐用年数終了時にその製品を引き取ることを義務付けています。2005 年 8 月 13 日現在欧州で販売済みのほとんどの HME 製品が WEEE 指令の対象となっています。メーカー、代理店、および小売店には、自治体の回収拠点からの回収、再利用、およびリサイクルにかかる費用について、WEEE の要件に指定される割合を支払うことが義務付けられています。

欧州連合におけるユーザーによる WEEE 処分に関する指示

以下に示す記号は、当該製品が 2005 年 8 月 13 日以降に販売されたものであり、他の廃棄物と一緒に処分してはならないことを示します。その代わりに、WEEE のリサイクルに指定された回収場所に持ち込み、廃棄物を処分することはユーザーの責任となっています。廃棄の分別収集とリサイクルは、天然資源の節約に役立ち、人の健康および環境を保護する方法でリサイクルされます。リサイクルのために廃棄物を持ち込める場所については、各自治体、家庭廃棄物処理業者、または製品の購入元である販売者までお問い合わせください。



HME ion|IQ™ メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

指示

HME ion|IQ™ メッセージセンターのセットアップは、以下の3つの手順に従って簡単に行うことができます。

手順1：顧客歓迎メッセージ、従業員へのリマインダー、警告メッセージを選択する

ヒント：1度に2つか3つのメッセージのみを計画し、顧客と従業員の認識度を高めるためにしばしば変更します。HME ion|IQ™ 提供の一般的メッセージから選択するか、店舗独自のメッセージを録音します。(事前にプログラムされているメッセージのリストについては、ion|IQ™ 操作指示ガイドの16ページを参照してください。)

- ❖ お客様がメニューボードに到着した時に、お客様に流れる3つか4つの顧客歓迎メッセージ
- ❖ 手洗いなどの、重要なタスクを従業員に念押しするために流す2つか3つのリマインダーメッセージ
- ❖ 裏口が開いたままになっているなど、早急に対応する必要がある時に、それを従業員に知らせる1つか2つの警告メッセージ

手順2：メッセージの再生時期と場所を判断する

- ❖ 顧客歓迎メッセージは、メニューボードのスピーカー、ヘッドセット、および天井スピーカーから再生されます。リマインダーと警告メッセージは、ヘッドセットおよびまたはグリルスピーカーのいずれか、あるいはすべてから再生されます。初期設定では、リマインダーと警告メッセージはすべてのヘッドセットに再生され、最も一般的に使用されます。
- ❖ リマインダーメッセージを一日中再生する場合は、繰り返しの間隔を設定することができます。たとえば、繰り返しの間隔を60分に設定すると、手洗いタスクのリマインダーメッセージは60分ごとに再生されます。
- ❖ 特定の時間帯に何かが発生した場合に通知を受けたい場合は、それを知らせる警告メッセージに遅延を設定することができます。たとえば、裏口が5分間開いたままになっているときの警告メッセージには遅延を設定します。

手順3：手順2のメッセージにメッセージスケジュールを作成する

- ❖ 顧客歓迎メッセージを特定時間の業務と共に変化するようにスケジュールすることも可能です。たとえば、1つのメッセージを朝食の時間帯に、別のメッセージを昼食と夕食の時間帯に、そして3つ目のメッセージを特別メニュー向けに1日中スケジュールすることができます。

ヒント：初期設定のSTORE CLOSED (閉店) メッセージは、閉店後に到着した車に自動的に再生され、開店時に再生されなくなります。この機能を使用するには、必ず店舗の営業時間を正しく設定してください。(ion|IQ™ 操作指示ガイドの35ページを参照してください。)

- ❖ リマインダーと警告メッセージは一般的に、一日中再生されるようにスケジュールされ、遅延や繰り返しの機能を使用します。
- ❖ 1週間毎日同じスケジュールを組むことが一般的ですが、メッセージのスケジュールは曜日によってカスタマイズすることも可能です。

HME ion|IQ™ メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

プランの例

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	ヘッドセット	天井スピーカー	遅延
1	朝食	06:00	11:00	✓(オン)	✓(オン)	03
2	昼食/夕食	11:00	20:00	- (オフ)	- (オフ)	00
3	ドリンクのお勧め	06:00	01:00	✓(オン)	✓(オン)	05
4						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	天井スピーカー
1	手洗い	06:00	01:00	1時間	すべて	はい
2	殺菌剤の交換	06:00	01:00	4時間	すべて	はい
3						

警告メッセージ

	名前	START TIME	STOP TIME	REPEAT	DELAY	HEADSETS	CEILING SPKR
1	裏口 (日中)	06:00	01:00	5分	5分	すべて	はい
2	裏口 (夜間)	20:00	01:00	5分	1分	すべて	はい
3							

スケジュール

	開始時間	終了時間	注
1	06:00	11:00 am	顧客歓迎 #1
2	11:00	20:00 pm	顧客歓迎 #2
3	06:00	01:00 am	顧客歓迎 #3、リマインダー #1 と #2
4	06:00	20:00 am	警告 #1
5	20:00	01:00 am	警告 #2
6			

注:最大 12 件の異なる時間帯スケジュールが設定できます。

HME ion|IQ™ メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME ionIQ™ メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME ionIQ™ メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME ionIQ™ メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	天井スピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	天井スピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME ion|IQ™ メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	グリルスピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	グリルスピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	グリルスピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

HME ion|IQ™ メッセージセンター クイックスタートガイド

適切なメッセージ、適切な人材、グッドタイミング!

顧客歓迎メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	遅延	ヘッドセット	グリルスピーカー
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

リマインダーメッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	ヘッドセット	GRILL SPKR
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

警告メッセージ

	名前	開始時間	終了時間	繰り返し	遅延	ヘッドセット	グリルスピーカー
1							
2							
3							
4							

スケジュール

	開始時間	終了時間	メモ
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			